

CentreCOM®
LA-PCM-TV3

ユーザーマニュアル

©1999 アライドテレシス株式会社

使用および取り扱い上の注意

本製品を安全に使用するために、以下の事項を必ずお守りください。これらの事項が守られていない場合、感電、怪我、火災、故障などの原因になります。



分解禁止

本製品のカバーを外したり分解したりしないでください。感電や故障の原因となります。また、メディアケーブルも分解しないでください。



稲妻危険

稲妻が発生しているとき、本製品やケーブルの設置などの作業を行わないでください。落雷により、感電する恐れがあります。



静電気注意

本製品・ケーブルは、静電気に敏感な部品を使用しています。部品が静電破壊する恐れがありますので、コネクタの接点部分などに素手で触れないでください。



取り付け及び取り外し時の注意

コンピュータのPCカードスロットに本製品を取り付ける作業は、必ずご使用のコンピュータのマニュアルを参照の上正しく行ってください。



取り扱いは丁寧に

落としたり、ぶついたり、強いショックを与えたりしないでください。



次のような場所での使用や保管はしないでください

- ・直射日光の当たる場所
- ・暖房器具の近くなどの高温になる場所
- ・急激な温度変化のある場所
(結露するような場所)
- ・湿気の多い場所や、水などの液体がかかる場所
- ・振動の激しい場所
- ・ほこりの多い場所や、ジュータンを敷いた場所
(静電気障害の原因にもなります)
- ・腐食性ガスの発生する場所
- ・スピーカ付近などの強磁界



動作温度と湿度

本製品は温度0 ~ 55 °C、湿度最大95%(ただし、結露なきこと)の範囲内でご使用ください。



異物を入れないでください

本製品の隙間から金属、液体などの異物を入れないでください。本体内部に異物が入ると火災、感電などの恐れがあります。



長期保管時は袋に入れて

本製品を長期にわたって保管する場合は、コンピュータのPCカードスロットに入れたままにしないで必ず袋に入れてください。



日常のお手入れ

本製品の汚れは、やわらかい乾いた布でふいてください。ベンジン、シンナーなどは使用しないでください。製品の変形、変色の原因になります。



お子様の手の届かないところに保管してください



高温注意

本製品は内部に多くの部品を集積しており、使用中に高熱を発するようになります。ご使用直後はかなり高温になっておりますので、ご注意ください。火傷の恐れがあります。



運搬時の注意

本製品をコンピュータのPCカードスロットに装着したままでコンピュータを運搬するときには必ず付属のケーブルを外してください。



濡れたカードは使用しない

カードが万が一濡れた場合はショートによる感電・火災を防ぐため、絶対に使用しないでください。



この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

0 はじめに

この度は、「CentreCOM LA-PCM-T V3」LAN PC カードをお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。このマニュアルは、本製品を正しくご利用いただくための手引きです。必要なときいつでもご覧いただくために、保証書とともに大切に保管くださいますようお願いいたします。

0.1 内容物をご確認ください

本製品パッケージの内容は、下記の通りです(下記以外に添付紙が同梱されている場合があります)。お買い上げ商品についてご確認いただき、万一不足するものがございましたら、お手数ですがお買い求めの販売代理店までご連絡ください。

- CentreCOM LA-PCM-T V3 本体 (永久保証対象)
- メディアケーブル
- ドライバーディスク (2 枚)
- ユーザーマニュアル
- 製品保証書 (永久保証)
- お客様インフォメーション登録カード
- シリアル番号シール

0.2 このマニュアルの構成

このマニュアルは、次図のような構成になっています。ドライバーのインストール手順などは、Windows98/95/NT4.0/NT3.51 に分けて記述していますが、その他の項目は、共通の記述になって

いるところもあります。ご使用のオペレーティングシステム(OS)に応じて、図のように読み進んでください。

0.3 ドライブ名「A:」「C:」「D:」

本書では、ドライバーのインストール対象となるコンピュータ機種として「AT 互換機または PC98-NX」、ドライブ名として下記を仮定して説明しています。ご使用のコンピュータでドライブ名が異なる場合は、ご使用のコンピュータにおけるものと読み替えてください。

- 「フロッピーディスクドライブ」として「A:」
- 「起動ドライブ (ハードディスク)」として「C:」
- 「CD-ROM ドライブ」として「D:」

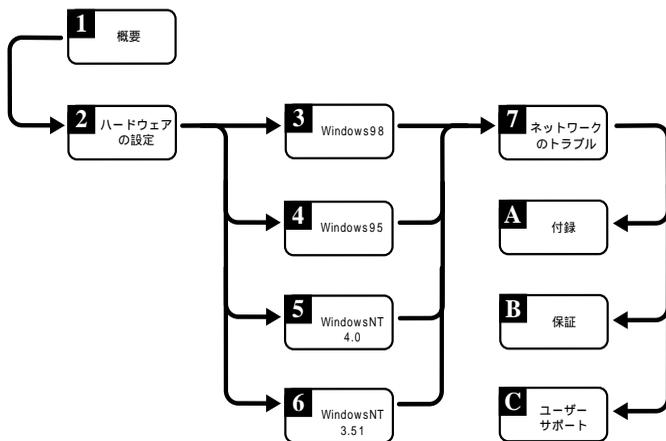
「PC-9800/PC-9821」における一般的なドライブ名を次に挙げます(必ずしも下記の通りではありません。コンピュータのマニュアル、実際にご使用のコンピュータでご確認ください)。

- 「フロッピーディスクドライブ」として「B:」
- 「起動ドライブ (ハードディスク)」として「A:」
- 「CD-ROM ドライブ」として「Q:」

0.4 表記上の注意

Windows95 には、いくつかのバージョンが存在します。本マニュアルでは、各用語を次の意味で使用しています。

- Version 950 Windows95 Ver.4.00.950
- Version A Windows95 Ver.4.00.950a



- Version B Windows95 Ver.4.00.950 B
このバージョンは「Version B」「OSR2 (= OEM Service Release 2)」「Type B」などの呼称が存在しますが、本書では「Version B」に統一します。
- Version C Windows95 Ver.4.00.950 C
このバージョンは「Version C」「OSR2.5 (= OEM Service Release 2.5)」「Type C」などの呼称が存在しますが、本書では「Version C」に統一します。

特に、バージョンを区別しない説明の場合には、Windows95 と表記します。

目次

0 はじめに	4
0.1 内容物をご確認ください	4
0.2 このマニュアルの構成	4
0.3 ドライブ名「A:」「C:」「D:」	4
0.4 表記上の注意	4
1 概要	8
1.1 特長	8
1.2 対応コンピュータ機種	8
1.3 対応オペレーティングシステム	8
1.4 各部の名称と働き	8
1.5 ドライバーディスク	9
2 ハードウェアの設定	9
2.1 メディアケーブル取り扱い上の注意	9
2.2 メディアケーブルの取り付け・取り外し	9
2.3 PCカードの取り付け・取り外し	10
2.3.1 PCカードの取り付け・取り外し (WindowsNT4.0/3.51)	10
2.3.1.1 PCカードの取り付け	10
2.3.1.2 PCカードの取り外し	10
2.3.2 PCカードの取り付け・取り外し (Windows98/95)	10
2.3.2.1 PCカードの取り付け	10
2.3.2.2 PCカードの取り外し	10
2.4 ネットワークへの接続	11
3 Windows98	12
3.1 ドライバーのインストール	12
3.1.1 用意するもの	12
3.1.2 新規インストール	12
3.2 インストールの確認とアダプターの設定	14
3.2.1 デバイスマネージャによるインストールの確認	14
3.2.2 PCカード(PCMCIA)による確認	15
3.2.3 ネットワークの設定	15
3.3 ドライバーの更新	16
3.4 ドライバーの削除	18
3.5 ドライバーの再インストール	18
3.6 ドライバーのトラブル	19
3.6.1 本製品を認識しない	19
3.6.2 デバイスマネージャで「x」が付く	19
3.6.3 PCMCIAコントローラが正しく表示されない	19
3.6.4 リソース値重複の回避	20
4 Windows95	20
4.1 ドライバーのインストール	20
4.1.1 用意するもの	20
4.1.2 新規インストール	21
4.2 インストールの確認とアダプターの設定	23
4.2.1 デバイスマネージャによるインストールの確認	23
4.2.2 PCカード(PCMCIA)による確認	24
4.2.3 ネットワークの設定	24
4.3 ドライバーの削除	24
4.4 再インストール	25
4.5 ドライバーのトラブル	25
4.5.1 本製品を認識しない	25
4.5.2 デバイスマネージャで「x」が付く	26
4.5.3 PCMCIAコントローラが正しく表示されない	26
4.5.4 リソース値重複の回避	26
5 Windows NT Ver. 4.0	27
5.1 準備と確認	27
5.2 ドライバーのインストール	27
5.2.1 用意するもの	28
5.2.2 リソースの確認	28
5.2.2.1 概要	28
5.2.2.2 リソースの値	28
5.2.2.3 WindowsNT診断プログラムの使用方法	28
5.3 ドライバーの新規インストール	29
5.4 インストール後	32
5.4.1 リソースの確認	32
5.4.2 本製品を使用しないとき	32
5.5 ドライバーの削除と再インストール	33
5.5.1 ドライバーの削除	33
5.5.2 再インストール	33
5.6 ドライバーのトラブル	33
6 Windows NT Ver. 3.51	34
6.1 準備と確認	34
6.2 ドライバーのインストール	34
6.2.1 用意するもの	34
6.2.2 リソースの確認	34
6.2.2.1 概要	34
6.2.2.2 リソースの値	34
6.2.2.3 WindowsNT診断プログラムの使用方法	35
6.3 ドライバーの新規インストール	35
6.4 インストール後	40
6.4.1 リソースの確認	40
6.4.2 本製品を使用しないとき	40
6.5 ドライバーの削除と再インストール	40
6.5.1 ドライバーの削除	40
6.5.2 再インストール	41
6.6 ドライバーのトラブル	41
7 ネットワークのトラブル	41
7.1 LNK LED は点灯していますか?	41
7.2 LNK LED は点灯しているが...	41

A	付録	42
A.1	製品仕様	42
A.2	ネットワークインターフェース	42
A.3	MAC アドレス	42
B	保証	43
C	ユーザーサポート	43
C.1	調査依頼書のご記入にあたって	43
C.2	システムレポート添付のお願い	44
C.3	最新ドライバーソフトウェアの入手方法	45
D	ご注意	48
E	商標について	48
F	マニュアルバージョン	48

1 概要

1.1 特長

CentreCOM LA-PCM-T V3 (以下、本製品と表記)は以下の特長をもつLAN PCカードです。

- PC Card Standard (PCMCIA Rel.2.1 / JEIDA Ver.4.2) Type II に対応
- Type II PC カードスロットをもつ AT 互換機 /NEC PC98-NX、PC-9800/PC-9821 に対応
- 10M Ethernet (10BASE-T) に対応
- 接続アダプターが付属 (RJ-45 型 10BASE-T コネクター (メス) を提供)
- 動作状態を表示する 2 個の LED がカード本体に付属
- Plug&Play に対応^(注)
- 活線挿抜 (Hot Plug/Hot Swap) に対応^(注)



注意

Plug&Play、活線挿抜は、これらの機能に対応しているコンピュータ、オペレーティングシステム (OS) とドライバーのもとでご使用になります。

1.2 対応コンピュータ機種

本製品は、PC Card Standard (PCMCIA Rel.2.1 / JEIDA Ver.4.2 Type II) に対応する PC カードスロットを持つ次のコンピュータ機種に対応しています。

- AT 互換機およびNEC PC98-NX
- NEC PC-9800/PC-9821

1.3 対応オペレーティングシステム

本製品は、次のオペレーティングシステム (OS) に対応しています。

- Windows98
- Windows95
- WindowsNT Ver.4.0
- WindowsNT Ver.3.51
- WindowsCE2.0J/Pro3.0
- MS-DOS (PC-DOS) Ver5.0以上

WindowsCE、MS-DOS でのインストール方法などは、本製品のドライバーディスクに収められている、テキストファイル形式のマニュアルに記述されています。そちらをご覧ください。(詳細は、ドライバーディスクに納められている README.1ST ファイルを参照)



注意

省電力モード (パワーマネージメント機能、サスペンドレジューム機能) には対応しておりません。すべての設定を無効にしてご使用ください。

1.4 各部の名称と働き

図 1.4.0.1 ~ 図 1.4.0.2 をもとに各部の名称と働きを説明します。

PC カード本体

コンピュータの PC カードスロットに挿入し、LAN アダプターの機能を提供します。

ACT LED

パケットの送受信が発生したとき橙色に点灯します。パケットの送受信が発生していないときは消灯しています。

LNK LED

対向装置と正常にリンクが確立されたとき緑色に点灯しません。リンクしていないときは消灯しています。

脱着ツメ

メディアケーブルの脱着を行うためのツメです。メディアケーブルの脱着は必ずこのツメを持って行ってください。

メディアケーブル

PC カード本体と UTP ケーブルを接続するためのケーブルです。

RJ-45 モジュラージャック

UTP ケーブル (シールドなしツイストペアケーブル) を接続するコネクターです。

MAC アドレスラベル

本製品の MAC アドレスが記入されています。MAC アドレスについては、「付録 A.3 MAC アドレス」をご覧ください。

警告ラベル

本製品を安全にご使用いただくための重要な情報が記載されています。必ずお読みください。

シリアル番号シール

本製品のシリアル番号 (製造番号) とリビジョンが記入されています。同じものが、3 枚ほど同梱されており、パッケージ (外箱) にも貼付されています。同梱されているシリアル番号シールは、「製品保証書」に貼付してください (残る 1 枚は予備です)。シリアル番号とリビジョンは、ユーザーサポートへ問い合わせる時に必要な情報です。

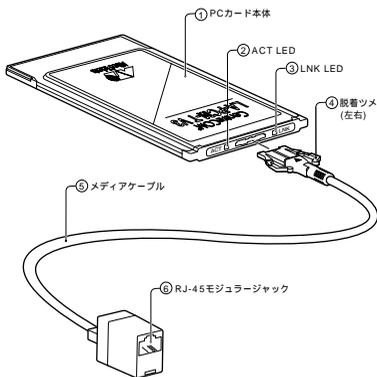


図 1.4.0.1 LA-PCM-T V3 外観図 (上面)

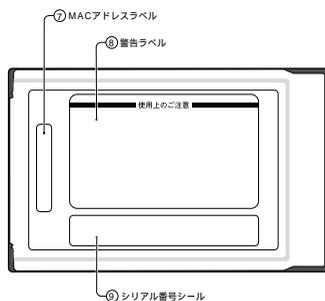


図 1.4.0.2 LA-PCM-T V3 外観図 (裏面)

1.5 ドライバードиск

本製品には、下記の 2 種類のドライバードискが付属しています。ご使用のコンピュータ機種にあわせて、ご使用ください。

- ・ AT 互換機 / NEC PC98-NX 用 (1.44M)
- ・ NEC PC-9800/PC9821 用 (1.25M)

本製品をご使用になる前に、必ず、ドライバードискに含まれる「README.*」ファイルをお読みください。「README.*」には、このマニュアルに記載されていない最新の情報が記載されています。



注意

※README.1ST (Read me first.) ファイルには、ドライバードискの詳細なディレクトリ構造やドライバードиск全体に関わる事が記載されています。各ディレクトリの中には、それぞれのドライバーに関連する README ファイルが存在します。

2 ハードウェアの設定



稲妻が発生しているとき、本製品やケーブルの設置などの作業を行わないでください。落雷により、感電する恐れがあります。

2.1 メディアケーブル取り扱い上の注意

メディアケーブルを LA-PCM-T V3 本体に取り付けまたは取り外す際には、以下の点に注意してください。

コネクタを PC カードに無理に押し込まない
コネクタの上下の面を確認してください。差し込むときに抵抗を感じたら、無理に押し込まないでください。

コネクタやケーブルを持って引き抜かない
必ず、コネクタの両側にある脱着ツメを押さえながら PC カードから取り外してください。

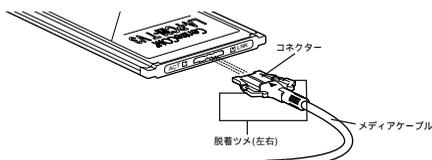


図 2.1.0.1 メディアケーブルの取り扱いに注意

- コネクタに無理な力を加えない
- コネクタの上に物を落とす、手をつく
- PC カードとコネクタの接続部に手や物を引っかけるなど、コネクタに無理な力を加えると故障や破損の原因となります。



この取扱上の注意に従わず、誤った使い方をした場合に発生した故障については、製品保証の対象外とさせていただきます。

2.2 メディアケーブルの取り付け・取り外し

メディアケーブルの LA-PCM-T V3 本体への取り付けは、下図のように、コネクタのマークを上にし、メディアケーブルのコネクタを本体のコネクタに奥まで差し込んでください。差し込んだら、メディアケーブルを軽く引っ張ってみて抜けないことを確認してください。

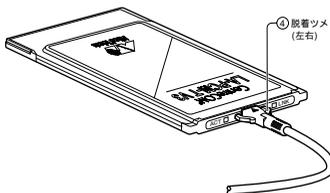


図 2.2.0.1 LA-PCM-T V3 本体へのメディアケーブルの取り付け

メディアケーブルを LA-PCM-T V3 本体から取り外す場合、本体 (PC カード) をコンピュータから取り外し、メディアケーブルのコネクター部の左右にある、脱着ツメを押さえながら本体から引き抜いてください。



警告 LA-PCM-T V3 本体をコンピュータに取り付けた状態で、メディアケーブルの取り外しを行わないでください。メディアケーブルと PC カード本体は、強い力で嵌合しているため、メディアケーブルを引っ張ると、PC カードがコンピュータの PC カードスロットから抜けてしまいます。

2.3 PC カードの取り付け・取り外し

ここでは、本製品の PC カードスロットへの取り付けおよび、取り外しの手順を説明します。

対応するオペレーティングシステムにより、手順が異なりますので、ご使用のオペレーティングシステムにあわせて、次の項目を参照してください。

- WindowsNT4.0/3.51 の場合 「2.3.1 PC カードの取り付け・取り外し (WindowsNT4.0/3.51)」へ
- Windows98/95 の場合 「2.3.2 PC カードの取り付け・取り外し (Windows98/95)」へ

2.3.1 PC カードの取り付け・取り外し (WindowsNT4.0/3.51)

WindowsNT4.0/3.51 の場合 本製品の PC カードスロットへの取り付け、取り外しは、必ずコンピュータの電源をオフにしてから実行してください。

2.3.1.1 PC カードの取り付け

「LA-PCM-T V3」の文字が印刷された面を上にして、本製品をコンピュータの PC カードスロットに挿入し、カチッと手応えがあるまで押し込んでください。



警告 コンピュータ機種によっては、下に向けて装着するものもあります。間違えて装着した場合、本製品やご使用のコンピュータの故障の原因となります。PC カード装着に関しては、必ずご使用のコンピュータのマニュアルをご覧ください。

2.3.1.2 PC カードの取り外し

コンピュータの PC カード取り外しボタンを押してください。本製品は、PC カードスロットから外れ、手で取り出せる状態になります。



警告 メディアケーブルを引っ張って PC カードを引き抜くことは絶対におやめください。本製品、メディアケーブルの故障の原因となります。

2.3.2 PC カードの取り付け・取り外し (Windows98/95)



ここでは、Windows98 の画面を使って説明しています。

2.3.2.1 PC カードの取り付け

Windows98/95 は活線挿抜をサポートしているので、コンピュータの電源をオンにした状態で本製品を PC カードスロットに挿入することができます。

本製品 (PC カード) のコンピュータへの取り付けは、後述のインストール手順をお読みになってから行ってください (本製品をコンピュータの PC カードスロットに挿入すると、ただちにインストールが開始されてしまいます)。

- (1) 「LA-PCM-T V3」の文字が印刷された面を上にして、本製品をコンピュータの PC カードスロットに挿入し、カチッと手応えがあるまで押し込んでください。



警告 コンピュータ機種によっては、下に向けて装着するものもあります。間違えて装着した場合、本製品やご使用のコンピュータの故障の原因となります。PC カード装着に関しては、必ずご使用のコンピュータのマニュアルをご覧ください。

- (2) 本製品を PC カードスロットに挿入すると、Windows98/95 は Plug & Play 機能により本製品を検出します。

- (3) 「PC カード (PCMCIA) のプロパティ」を表示させると、「コントロールパネル」「PC カード (PCMCIA)」、「Allied Telesis LA-PCM V3 Ethernet Card」の名前が表示されず (Windows98 の場合は、「図 3.2.2.1 PC カードのプロパティ (ソケットの状態)」(p.15)、Windows95 の場合は、「図 4.2.2.1 ソケットの状態」(p.24) を参照)。

2.3.2.2 PC カードの取り外し

Windows98/95 は活線挿抜をサポートしているので、コンピュータの電源をオンにした状態で本製品を PC カードスロットから取り外すことができます。ただし、コンピュータの電源がオンの状態で本製品を取り外す場合は、必ず以下の手順で行ってください。



警告 以下の手順を守らなかった場合、コンピュータのハングアップや、Windows98/95 ファイルの破壊を招く恐れがあります。ま

た、以下の手順をお守りいただかないで起こった障害に関してはユーザーサポートの対象外とさせていただきます。

- (1) ネットワークと通信を行っているアプリケーション、例えば Internet Explorer、Netscape Navigator、Telnet やデータベースアプリケーションなどをすべて終了してください。「ネットワークドライブの割り当て」を行っている場合は、すべて切断してください。
- (2) タスクバーの PC カードアイコン（通常デスクトップ右下）をクリックします。



図 2.3.2.2 PC カードアイコン

- (3) 「Allied Telesis LA-PCM V3 Ethernet Card の中止」バーが表示されたらバーをクリックしてください。



図 2.3.2.3 「Allied Telesis LA-PCM V3 Ethernet Card の中止」バー

- (4) 次のメッセージが表示されたら、「OK」ボタンをクリックしてください。



図 2.3.2.4 PC カード取り外しの確認

- (5) コンピュータの PC カード取り外しボタンを押してください。本製品は、PC カードスロットから外れ、手で取り出せる状態になります。



警告

メディアケーブルを引っ張って PC カードを引き抜くことは絶対におやめください。本製品、メディアケーブルの故障の原因となります。

2.4 ネットワークへの接続

ネットワークに接続するときのケーブルの取り扱いについて説明します。

- (1) UTP ケーブルの端に付いたプラグの一方を、本製品の UTP コネクタにカチッと音がするまで差し込んでください。



注意

UTP ケーブル（シールドなしツイステドペアケーブル）は、10BASE-T の場合はカテゴリ 3 以上のものでもストレートタイプをご使用ください。

- (2) UTP ケーブルを引っ張ってみて抜けないことを確認してください。
- (3) UTP ケーブルのもう一方の端のプラグをハブ（またはスイッチ）の UTP コネクタに差し込んでください。手順は、上記 (1)(2) と同様です。



UTP ケーブルの RJ-45 プラグは、プラグの爪を指で押えながら手前に引くと、抜くことができます。

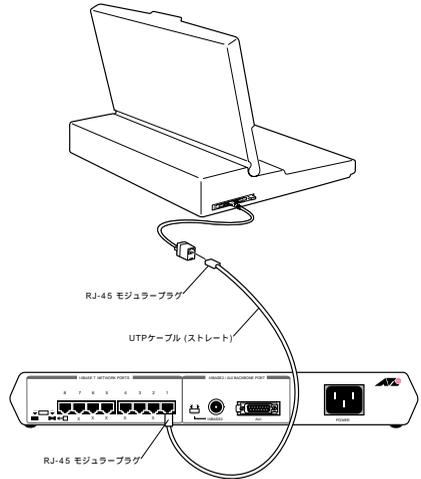


図 2.4.0.1 ハブとの接続例

3 Windows 98



以下に挙げる内容は一例です。お客様の環境によっては、手順などが若干異なることがあります。(本書に掲載した画面は AT 互換機のもので、PC-9800/PC-9821 の場合はディスクドライブ名が異なります。)

3.1 ドライバーのインストール

3.1.1 用意するもの

- LA-PCM-T V3 カード本体
- コンピュータ (Windows98 インストール済み)
- LA-PCM-T V3 ドライバーディスク (本製品に付属)
- Windows 98 の CD-ROM



Windows98 が、コンピュータ購入時にあらかじめインストールされた形態で提供されたもの、すなわちプリインストール版である場合は、Windows98 のバックアップ CD-ROM が付属しているかどうかをご確認ください。バックアップ CD-ROM が付属していない場合は、安全のため必ずフロッピーディスクに Windows98 のバックアップを取った後でドライバーのインストールを開始してください。バックアップの手順については、ご使用のコンピュータのマニュアルをご覧ください。コンピュータメーカーにご確認ください。

3.1.2 新規インストール

本製品のドライバーを Windows98 に新規インストールする手順を説明します (ここでは、今までにネットワークアダプター用ドライバーをインストールしたことがなく、今回初めて本製品のドライバーをインストールする場合の手順について説明します)。

- (1) コンピュータの電源をオンにし、Windows98 を起動してください。
- (2) コンピュータの PC カードスロットに本製品を挿入してください。
- (3) Windows98 は本製品が PC カードスロットに挿入されたことを自動的に検出し、次のダイアログを表示します。「次へ>」ボタンをクリックしてください。



図 3.1.2.1 「新しいハードウェアの追加ウィザード」の起動

- (4) 「特定の場所にあるすべてのドライバーの一覧を作成し、インストールするドライバーを選択する」ラジオボタンを選択し、「次へ>」ボタンをクリックしてください。

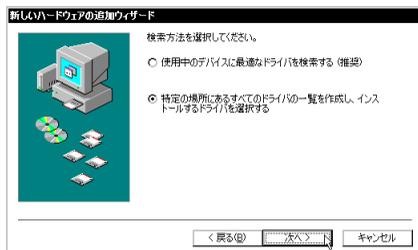


図 3.1.2.2 検索方法の選択

- (5) 次のダイアログが表示されます。一覧から、「ネットワークアダプタ」を選択し、「次へ>」ボタンをクリックしてください。



図 3.1.2.3 デバイスからネットワークアダプタを選択



コンピュータの機種によっては、手順 (5) のネットワークアダプタを選択する画面が表示されず、手順 (6) のデバイスの選択画面が表示されるものがあります。その場合は、手順 (6) に進んでください。

- (6) 次のダイアログが表示されたら、「ディスク使用」ボタンをクリックしてください。

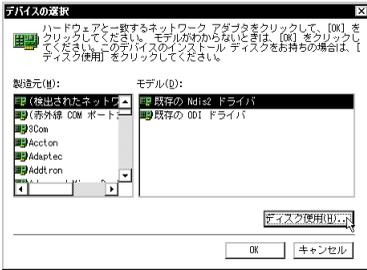


図 3.1.2.4 ドライバインストールにはディスクを使用

- (7) 本製品付属のドライバーディスクをフロッピーディスクドライブに入れ、次のダイアログで「A:¥windows.98」と入力して、「OK」ボタンをクリックしてください。ここでは、フロッピーディスクを「A:」と仮定します。

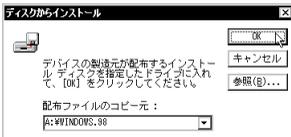


図 3.1.2.5 ドライバの選択

- (8) Windows98 によってドライバーディスクが走査され、次のダイアログが表示されます。「OK」ボタンをクリックするとダイアログが閉じ、図 3.1.2.4 の画面に戻りますが、画面が自動的に閉じて、手順 (9) の図 3.1.2.7 の画面が表示されるまで、そのまましばらくお待ちください。(1～2分)

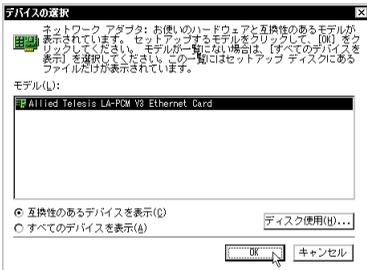


図 3.1.2.6 モデルの確認

- (9) 次のダイアログで、「ドライバのある場所」が「A:¥WINDOWS.98¥NETATK.INF」となっていることを確認し、「次へ>」ボタンをクリックしてください。

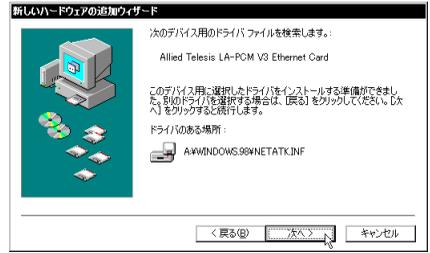


図 3.1.2.7 ドライバファイルの検索開始

- (10) インストールの途中で、次のようなダイアログが表示される場合は、フロッピーディスクドライブに本製品のドライバーディスクが入っていることを確認し、「ディスクの挿入」ダイアログで「OK」ボタンをクリックしてください。



図 3.1.2.8 ドライバディスクの要求

次のダイアログが表示される場合は、「ファイルのコピー元」にパスの指定を、「A:¥windows.98」と入力し「OK」ボタンをクリックしてください。ここでは、フロッピーディスクドライブを「A:」と仮定します。



注意

ファイル「lapcmv34.sys」は、Windows 98 の CD-ROM 上のファイルとして説明されていますが、実際は、本製品に添付されている、CentreCOM LA-PCM-T V3 用のドライバーディスクの中に収められています。

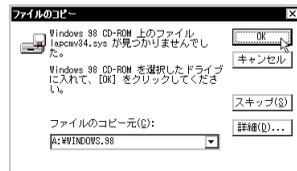


図 3.1.2.9 ドライバのパス（所在）の指定

また、次のようなダイアログが表示される場合、Windows98 の CD-ROM が CD-ROM ドライブに挿入されていることを確認し、「ディスクの挿入」ダイアログで「OK」ボタンをクリックしてください。



図 3.1.2.10 Windows98 CD-ROM の要求

次のダイアログが表示される場合は、「ファイルのコピー元」に「D:¥WIN98」を入力してください。ここではCD-ROM ドライブを「D:」AT 互換機を仮定します。PC-9800/PC-9821 の場合は、「Q:¥WIN98N」を指定してください。

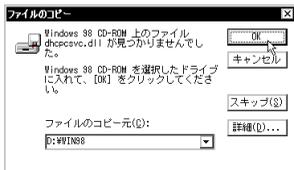


図 3.1.2.11 Windows98 関連ファイルの所在の指定



注意

ご使用のコンピュータがプリインストール版である場合、「ファイルのコピー元」として「C:¥WINDOWS¥OPTIONS¥CABS」を入力してください (AT 互換機/PC98-NX)。PC-9800/PC-9821 では、「A:¥WINDOWS¥OPTIONS¥CABS」を入力してください。

(11) 「完了」ボタンをクリックしてください。



図 3.1.2.12 インストールの完了

(12) フロッピーディスクドライブからドライバーディスクを抜き、「はい」ボタンをクリックし、コンピュータを再起動してください。

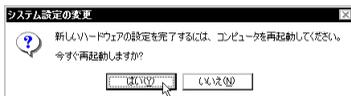


図 3.1.2.13 再起動の確認

(13) 以上でドライバーのインストールは終了です。引き続き「3.2 インストールの確認とアダプターの設定」に進みください。



注意

インストール後の再起動時に、次のようなダイアログが表示されることがあります。DHCP サーバを使用していなければ、「いいえ」ボタンをクリックしてください。また、DHCP サーバを使用し

ている場合 (例えば、ケーブルテレビを使用したインターネット接続等) は、「はい」ボタンをクリックしてください。LAN 環境で TCP/IP をご利用になる場合は、DHCP の設定に関してシステム管理者にご相談ください。



図 3.1.2.14 DHCP メッセージ

3.2 インストールの確認とアダプターの設定

はじめにドライバーのインストールが正常に行われていることを確認し、さらに必要な設定を行います。

3.2.1 デバイスマネージャによるインストールの確認

(1) 「コントロールパネル」の「システム」アイコンをダブルクリックしてください。



図 3.2.1.1 「コントロールパネル」－「システム」アイコン

(2) 「デバイスマネージャ」タブをクリックしてください。インストールが正常に行われていれば、「ネットワークアダプタ」の下に「Allied Telesis LA-PCM V3 Ethernet Card」が表示されます。



図 3.2.1.2 システムのプロパティ



注意

ご使用のコンピュータが CardBus 対応モデルであり、かつ PCMCIA コントローラが 16bit/32bit 共用タイプである場合、PCMCIA コントローラは同じ名称が 2 列以上表示されます。

本製品のアイコンに「x」「?」「!」などのマークが付いたり、あるいはアイコンが「ネットワークアダプタ」の下ではなく、「不明なデバイス」や「その他のデバイス」の下にある場合は、インストールに失敗しています。詳しくは、「3.6 ドライバーのトラブル」(p.19)をご覧ください。

- (3) 「Allied Telesis LA-PCM V3 Ethernet Card」を選択 (反転表示) し、「プロパティ」、「全般」タブと進みます。「デバイスの状態」欄に「このデバイスは正常に動作しています。」と表示されていることをご確認ください。



図 3.2.1.3 本製品のプロパティ (「全般」タブ)

- (4) 本製品が使用する I/O の範囲 (I/O アドレス) 割り込み要求 (IRQ) などは、Windows98 によって自動的に設定されます。「リソース」タブを選択すると、これらを確認することができます。

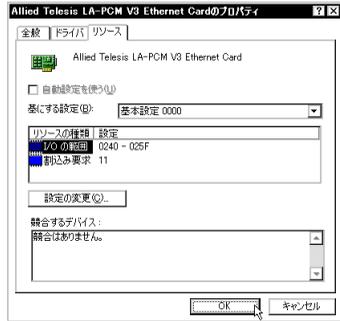


図 3.2.1.4 本製品のプロパティ (「リソース」タブ)

3.2.2 PC カード (PCMCIA) による確認

「コントロールパネル」の「PC カード (PCMCIA)」をダブルクリックします。「ソケットの状態」タブを選択し、該当するソケットに「Allied Telesis LA-PCM V3 Ethernet Card」が表示されていることを確認します。



図 3.2.2.1 PC カードのプロパティ (「ソケットの状態」)

3.2.3 ネットワークの設定

「コントロールパネル」の「ネットワーク」をダブルクリックし、使用するプロトコル、クライアントなどの設定を行います。必要な設定を終えたら、「ネットワーク」ダイアログの「OK」ボタンをクリックしてください。再起動を促すダイアログが表示されます。設定内容は、再起動後から有効となります。設定に関する詳細は、システム管理者にご確認ください。



図 3.2.3.1 「ネットワーク」ダイアログ

3.3 ドライバの更新

ドライバーの更新は、本製品用の最新のドライバーを入手したときに実行します。

- (1) Windows98のCD-ROMをコンピュータのCD-ROMドライブに入れてください。
- (2) 「コントロールパネル」 「システム」 「デバイスマネージャ」と進みます。「ネットワークアダプタ」をダブルクリックし、その下に表示される「Allied Telesis LA-PCM V3 Ethernet Card」を選択して、「プロパティ」ボタンをクリックしてください（図 3.2.1.2 参照）。
- (3) 次のダイアログで「ドライバ」タブをクリックし、「ドライバの更新」ボタンをクリックしてください。



図 3.3.0.1 本製品のプロパティ（「ドライバ」タブ）

- (4) 「次へ>」ボタンをクリックしてください。

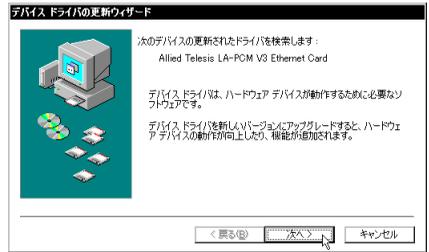


図 3.3.0.2 「デバイスドライバの更新ウィザード」の起動

- (5) 「特定の場所にあるすべてのドライバの一覧を作成し、インストールするドライバを選択する」ラジオボタンを選択し、「次へ>」ボタンをクリックしてください。

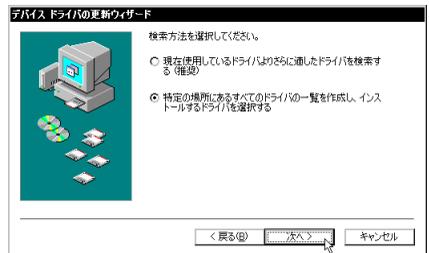


図 3.3.0.3 検索方法の選択

- (6) 次のダイアログが表示されたら、「ディスク使用」ボタンをクリックします。

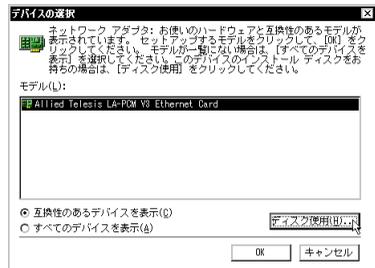


図 3.3.0.4 ドライバの更新には、ディスクを使用

- (7) 本製品の最新のドライバーディスクをフロッピーディスクドライブに入れ、次のダイアログで「A:¥windows.98」と入力して、「OK」ボタンをクリックしてください。ここでは、フロッピーディスクを「A:」と仮定します。

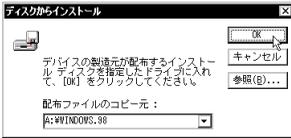


図 3.3.0.5 ドライバーの所在の指定

- (8) Windows98 によってドライバーディスクが検索され、次のダイアログが表示されます。「OK」ボタンをクリックしてください。ダイアログが閉じ、図 3.3.0.4 の画面に戻りますが、画面が自動的に閉じて、手順 (9) の図 3.3.0.7 の画面が表示されるまで、そのまましばらくお待ちください。(1 ~ 2 分)

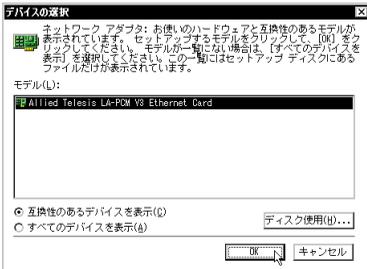


図 3.3.0.6 選択するドライバーの確認

- (9) 次のダイアログで、「ドライバのある場所」が「A:¥WINDOWS.98¥NETATK.INF」となっていることを確認し、「次へ >」ボタンをクリックしてください。ここでは、フロッピーディスクドライブを「A:」と仮定します。

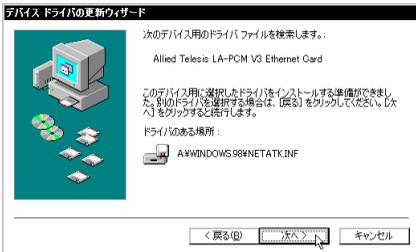


図 3.3.0.7 ドライバーファイルの検索開始

- (10) 途中で、次のようなダイアログが表示される場合は、フロッピーディスクドライブに本製品のドライバーディスクが入っていることを確認し、「ディスクの挿入」ダイアログで「OK」ボタンをクリックしてください。



図 3.3.0.8 ドライバーディスクの要求

次のダイアログが表示される場合は、「ファイルのコピー元」にパスの指定を、「A:¥windows.98」と入力し「OK」ボタンをクリックしてください。ここでは、フロッピーディスクドライブを「A:」と仮定します。



注意

ファイル「lapcmv34.sys」は、Windows98 の CD-ROM 上のファイルとして説明されていますが、実際は、本製品に添付されている、CentreCOM LA-PCM-T V3 用のドライバーディスクの中に収められています。



図 3.3.0.9 本製品のドライバーの所在

また、次のようなダイアログが表示される場合、Windows98 の CD-ROM が CD-ROM ドライブに挿入されていることを確認し、「ディスクの挿入」ダイアログで「OK」ボタンをクリックしてください。



図 3.3.0.10 Windows98 の CD-ROM の要求

次のダイアログが表示される場合は、「ファイルのコピー元」に「D:¥WIN98」と入力してください。ここでは CD-ROM ドライブを「D:」、AT 互換機を仮定します。PC-9800/PC-9821 の場合は、「Q:¥WIN98N」を指定してください。

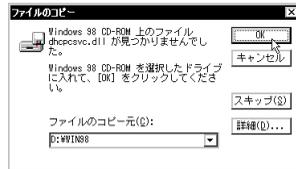


図 3.3.0.11 Windows98 のファイルの所在の指定



注意

ご使用のコンピュータがブラインストール版である場合、「ファイルのコピー元」として「C:¥WINDOWS¥OPTIONS¥CABS」を入力してください。(AT 互換機 /PC98-NX) PC-9800/PC-9821 では、「A:¥WINDOWS¥OPTIONS¥CABS」を入力してください。

- (11) 「完了」ボタンをクリックしてください。



図 3.3.0.12 更新の完了

- (12) フロッピー ディスクドライブからドライバーディスクを取り出し、「はい」ボタンをクリックしてください。コンピュータは、更新されたドライバーを使用して再起動します。

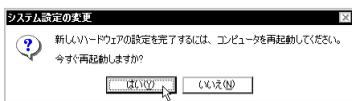


図 3.3.0.13 再起動の確認

- (13) 「3.2 インストールの確認とアダプターの設定」(p.14) を実行してください。

3.4 ドライバーの削除

ドライバーの再インストールを行う場合、ドライバーを一旦削除してから行います。ドライバーのインストールに失敗した場合も、この手順になり、間違ってインストールされたドライバーを削除してから、あらためてインストール作業を行います。

- (1) 「コントロールパネル」 「システム」 「デバイスマネージャ」と進みます。「ネットワークアダプタ」をダブルクリックして表示された「Allied Telesis LA-PCM V3 Ethernet Card」を選択し、「削除」ボタンをクリックしてください。



図 3.4.0.1 削除ボタンをクリック

- (2) 次のダイアログが表示されたら、「OK」ボタンをクリックします。



図 3.4.0.2 デバイス削除の確認

- (3) 次のダイアログが表示されたら、「いいえ」ボタンをクリックしてください。

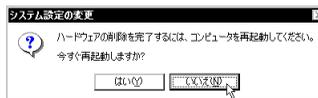


図 3.4.0.3 再起動では「いいえ」を選択

- (4) 「ネットワークアダプタ」の下から本製品のアイコンが消えていることを確認し、「閉じる」ボタンをクリックしてください。



図 3.4.0.4 削除後のデバイスマネージャ

- (5) Windows98 を終了し(「スタート」 「Windows の終了」 「電源を切る状態にする」 「OK」ボタン) コンピュータの電源をオフにします。

- (6) コンピュータの PC カード取り外しボタンを押し、本製品を取り外してください。次回の Windows98 起動時から、本製品のドライバーがインストールされていない状態となります。

3.5 ドライバーの再インストール

ドライバーを再インストールする手順は以下の通りです。

- (1) 「3.4 ドライバーの削除」(p.18) の手順にしたがい、本製品のドライバーを削除します。
- (2) Windows98 を再起動し、本製品をコンピュータの PC カードスロットに挿入し、「3.1.2 新規インストール」(p.12) の手順を参考に、ドライバーをインストールします。本製品のドライバーが自動的にインストールされてしまう場合には、「3.3 ドライバーの更新」(p.16) を参照して、ドライバーの更新作業を行ってください。

3.6 ドライバーのトラブル

ここでは、ドライバーのインストールに伴うトラブルの代表的な例と、その対処法について説明します。



以下の手順は、本製品を PC カードスロットに取り付けた状態で行ってください。

3.6.1 本製品を認識しない

「正常にインストールできない」場合や、「PC カードが検出されない」場合、また「3.2.1 デバイスマネージャによるインストールの確認」(p.14) にしたがって確認を行うと、「Allied Telesis LA-PCM V3 Ethernet Card」アイコンが以下のようにになっている場合は、ドライバーのインストールに失敗しています。

- ・「ネットワークアダプタ」の項目がない
- ・「その他のデバイス」や「不明なデバイス」の下に入ってしまった
- ・デバイスマネージャで「!」「?」マークが付く
- ・「Allied Telesis LA-PCM V3 Ethernet Card」アイコンが2つ以上ある



「ネットワークアダプタ」の項目がないとか、本製品のアイコンが「その他のデバイス」や「不明なデバイス」の下に入ってしまう原因として、ドライバーのインストール中に行われる Windows98 関連ファイル (netapi.dll など) のインストールをキャンセルしてしまった場合などが考えられます。

このようなときは、ドライバーを一旦削除し、再インストールを行います。以下の手順を実行してください。

- (1) 不正にインストールされた「Allied Telesis LA-PCM V3 Ethernet Card」アイコンを選択し、「削除」ボタンをクリックしてください。
- (2) 「3.5 ドライバーの再インストール」(p.18) の手順にしたがって、ドライバーをインストールしなおしてください。

3.6.2 デバイスマネージャで「x」が付く

デバイスマネージャの「Allied Telesis LA-PCM V3 Ethernet Card」アイコンに「x」マークが付いている場合は、デバイスが「使用不可」に設定されています。以下の手順にしたがって使用許可の状態に切り替えてください。

- (1) 「Allied Telesis LA-PCM V3 Ethernet Card」を選択（反転表示）し、「プロパティ」ボタンをクリックし、「全般」タブを表示します（図 3.2.1.3 参照）。
- (2) 「デバイスの使用」欄の「このハードウェアプロファイルを使用不可にする」のチェック「✓」を外してください。

3.6.3 PCMCIA コントローラが正しく表示されない

本製品のドライバーは、PCMCIA コントローラと協調して動作します。そのため、PCMCIA コントローラが正しくインストールされていない状況では、本製品のドライバーは動作することができません。



ご使用のコンピュータの PCMCIA コントローラ専用ドライバーが、フロッピーディスクなどで提供されていることがあります。以下で説明する手順を実行する前に、必ずご使用のコンピュータのマニュアルを確認し、そのマニュアルに記載されている手順で PCMCIA コントローラの再インストールを行ってください。また、専用のドライバーが提供されていない場合は、どのようなドライバーがインストールされているかを記録した後（下記参照）以下の手順を実行してください。



このようなときは、Windows98 のシステムレポート出力機能を利用すると便利です。レポートを出力するには、「コントロールパネル」「システム」「デバイスマネージャ」とどり、「印刷」ボタンをクリックします。「レポートの種類」では「すべてのデバイスとシステムの概要」を選択し、以後画面の指示にしたがってください。



CardBus 対応のコンピュータ機種には、使用する PC カードに応じて 2 種類（16bit/32bit）の PCMCIA コントローラを切り替えなければなりませんのでご注意ください。詳細は、ご使用のコンピュータのマニュアルもしくは、コンピュータのメーカーにご確認ください。

「1. デバイスマネージャによるインストールの確認」（「3.2 インストールの確認とアダプターの設定」(p.14) 参照) にしたがってインストールの確認を行った際に、「PCMCIA ソケット」の下に表示される PCMCIA コントローラのアイコンに「?」「!」のマークが付いている場合は、次の手順を実行してみてください。

- (1) 「コントロールパネル」「システム」「デバイスマネージャ」と進みます。
- (2) 「PCMCIA ソケット」の下にある PCMCIA コントローラを選択し、「削除」ボタンをクリックしてください。
- (3) 「デバイス削除の確認」ダイアログが表示されます。「OK」ボタンをクリックしてください。

- (4) 「デバイスマネージャ」から「PCMCIA ソケット」のアイコンが消えていることを確認します。
- (5) Windows98を終了し、コンピュータの電源をオフにした後、本製品をPC カードスロットから取り外します。
- (6) 再びコンピュータの電源をオンにします。「コントロールパネル」ウィンドウを表示し、「PC カード (PCMCIA)」アイコンが消えていることを確認します。



Plug & Play 機能により、ドライバーを自動的に読み込んでしまうコンピュータ機種もあります。

- (7) 「ハードウェアの追加」アイコン (コントロールパネル) をダブルクリックしてください。「ハードウェアの追加ウィザード」が起動したら、「次へ >」ボタンをクリックしてください (「ハードウェアウィザード」の実行には数分の時間がかかります)。
- (8) 「はい (通常はこちらを選んでください)」を選択し、続く2つの質問に対して「次へ >」ボタンをクリックして進みます。最後に「完了」ボタンをクリックしてハードウェアウィザードを終了してください。
- (9) 続いて、自動的に「PC カード (PCMCIA) ウィザード」が起動します。表示されるメッセージにしたがって操作してください。

3.6.4 リソース値重複の回避

前述の手順にしたがってドライバーの削除および再インストール作業を行っても、なおアイコンに「?」、「!」マークが付いている場合は、他の拡張アダプターとリソースの値が重複している可能性があります。

特に、Plug & Play に対応していない他の拡張アダプターを本製品とともに使用している場合は、その拡張アダプターが使用するリソース値を Windows98 に予め登録 (「予約」と呼びます) し、その値が他の Plug & Play 対応デバイス (本製品を含む) によって使用されないように設定することで、値の重複を回避できます。

- (1) Plug & Play 非対応の拡張アダプターが使用するリソースの値 (インタラプト (IRQ)、I/O ベースアドレス、メモリ、ダイレクトメモリアクセス (DMA)) を調べておきます。詳細は、その拡張アダプターのマニュアルをご覧ください。または、メーカーにお問い合わせください。
- (2) 「コントロールパネル」、「システム」、「デバイスマネージャ」、「コンピュータ」、「コンピュータのプロパティ」パネル 「リソースの予約」と進みます。
- (3) 該当する項目を選択し、「追加」ボタンをクリックします。画面の指示にしたがって予約するリソースの値を登録してください。

4 Windows 95

バージョンを確認してください

Windows95 には、いくつかのバージョンが存在します。初めに、ご使用の Windows95 のバージョンを、「システム」(コントロールパネル) で確認します。「スタート」「コントロールパネル」「システム」「情報」と進み、システムの番号を確認してください。

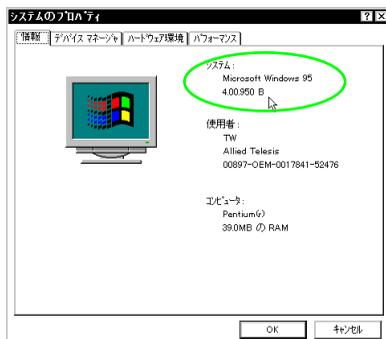


図 4.0.0.1 システムのバージョン確認



注意

ここでは、Version B(OSR2) での手順に従って説明します。Version B/C のインストール手順は同じですが、Version A の場合は手順が異なりますので、その場合には、注意の説明を参照してください。



注意

以下に挙げる内容は一例です。お客様の環境によっては、手順などが若干異なることがあります。(本マニュアルで使用した画面は AT 互換機のもので、PC-9800/PC-9821 の場合はディスクドライブ名が異なります。)

4.1 ドライバーのインストール

4.1.1 用意するもの

- LA-PCM-T V3 カード本体
- コンピュータ (Windows95 インストール済み)
- LA-PCM-T V3 ドライバーディスク (本製品に付属)
- Windows95 の CD-ROM または フロッピーディスク



注意

Windows95 が、コンピュータ購入時にあらかじめインストールされた形態で提供されたもの、すなわちプリインストール版である場合は、Windows95 のバックアップ CD-ROM が付属しているかどうかをご確認ください。バックアップ CD-ROM が付属していない場合は、安全のため必ずフロッピーディスクに Windows95 のバックアップを取った後でドライバーのインストールを開始してください。バックアップの手順については、ご使用のコンピュータのマニュアルをご覧ください。

4.1.2 新規インストール

- (1) コンピュータの電源をオンにし、Windows95 を起動してください。
- (2) コンピュータのPCカードスロットに本製品を挿入してください。
- (3) Windows95 は、本製品を自動的に検出し、「デバイスドライバウィザード」が起動します。本製品のドライバーディスクをフロッピーディスクドライブに挿入し、「次へ>>」ボタンをクリックしてください。



図 4.1.2.1 「デバイスドライバウィザード」の起動



Version 950/A の場合は、「新しいハードウェア」ダイアログが表示されます。「ハードウェアの製造元が供給するドライバ (M)」を選択し、「OK」ボタンをクリックします。

続いて、「フロッピーディスクからインストール」ダイアログが表示されますので、フロッピーディスクドライブに本製品のドライバーディスクを入れ、「A:\windows.95」と入力し、「OK」ボタンをクリックします。その後は、手順 (8) に進んでください。

- (4) 本製品用のドライバーの場所を指定します。「場所の指定 (O)」ボタンをクリックします。



図 4.1.2.2 ドライバーの検索場所を指定する

- (5) 本製品のドライバーは、本製品に添付されているドライバーディスクの「¥windows.95」ディレクトリにあるので、「場所」に「A:\¥WINDOWS.95」と入力し、OKボタンをクリッ

クします。ここでは、フロッピーディスクドライブを「A:」と仮定します。

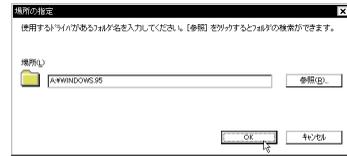


図 4.1.2.3 ドライバーのパスを入力する

- (6) ドライバの場所が「Windows.95」となっていることを確認し、完了ボタンをクリックしてください。

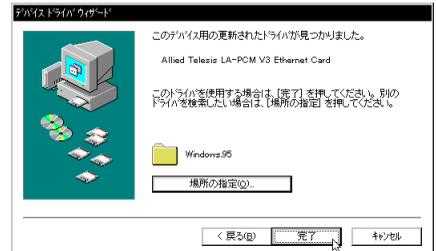


図 4.1.2.4 インストールするドライバーの確認

- (7) 「デバイスドライバウィザード」は下の画面を表示します。画面の内容を読んだ上で、「完了」ボタンをクリックしてください。



図 4.1.2.5 ドライバーの検索の終了

- (8) 途中で、次のようなダイアログが表示される場合は、フロッピーディスクドライブに本製品のドライバーディスクが入っていることを確認し、「ディスクの挿入」ダイアログで「OK」ボタンをクリックしてください。



図 4.1.2.6 ドライバーディスクの要求

次のダイアログが表示される場合は、「ファイルのコピー」ダイアログで、「ファイルのコピー元」にパスの指定を、「A:¥windows.95」と入力し「OK」ボタンをクリックしてください。ここでは、フロッピーディスクドライブを「A:」と仮定します。



ファイル「lapcmv3.sys」は、Windows95のCD-ROM上のファイルとして説明されていますが、実際は、本製品に添付されている、CentreCOM LA-PCM-T V3用のドライバーディスクの中に収められています。

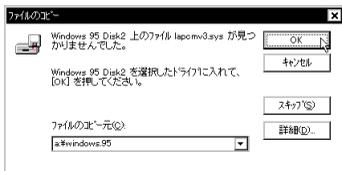


図 4.1.2.7 ファイルのコピー元の指定（本製品）

また、次のようなダイアログが表示される場合、Windows95のCD-ROMがCD-ROMドライブに挿入されていることを確認し、「ディスクの挿入」ダイアログで「OK」ボタンをクリックしてください。



図 4.1.2.8 Windows95 ディスクの挿入



次のダイアログが表示される場合は、「ファイルのコピー元」に「C:¥windows¥options¥cabs」を入力してください（AT互換機/PC98-NX）、PC-9800/PC-9821では「A:¥windows¥options¥cabs」となります。

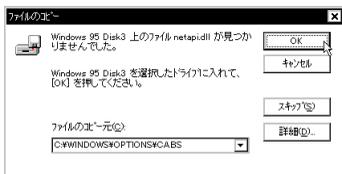


図 4.1.2.9 パスの指定（プリインストール版）



インストール元のメディアとして CD-ROM、フロッピーディスクを使用する場合は、以下のように入力してください。

フロッピーディスクの場合
指示された番号のディスクをフロッピーディスクドライブに入れ、「ファイルのコピー元：」で「A:¥」を入力してください。通常、drv: は AT 互

換機/PC98-NX では A:、PC-9800/PC-9821 では B: となります。

CD-ROMの場合

CD-ROMをドライブに挿入し、「D:¥WIN95」を入力してください。（ここでは、CD-ROMドライブを「D:」と仮定します。）

- (9) コピーが終了すると、次のダイアログが表示されますので、コンピュータ名、ワークグループ名、コンピュータの説明（省略可）の入力を行います。これらの情報については、お客様の環境におけるシステム管理者にご相談ください。



図 4.1.2.10 「ユーザー情報」の入力



コンピュータ名およびワークグループ名の入力には、15文字以下の半角文字を使用します。詳細は、Windows95のマニュアルおよびオンラインヘルプをご覧ください。また、このダイアログをインストール後に変更する場合は、「コントロールパネル」「ネットワーク」を起動し、「ユーザー情報」タブを選択してください（既にこのダイアログの内容が設定されている場合、このダイアログはドライバーのインストール中に表示されません）。

- (10) ダイアログ「システム設定の変更」が表示されます。フロッピーディスクドライブからドライバーディスクを抜き、「今すぐ再起動しますか?」という問いに対して、「はい(Y)」ボタンをクリックし、再起動してください。以上でインストールは終了です。

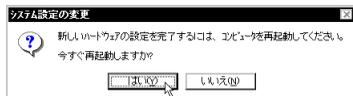


図 4.1.2.11 システム設定の変更確認



ご使用のコンピュータに既に他のネットワークアダプターのドライバをインストールしたことがある場合、このダイアログが表示

されないこともあります。この場合も必ず再起動して、本製品のドライバーを有効化してください。



インストール後の再起動時に、次のようなダイアログが表示される場合があります。その場合は、「はい」ボタンをクリックしてください。LAN 環境で TCP/IP をご使用になる場合は、DHCP の設定に関してシステム管理者にご相談ください。



図 4.1.2.12 DHCP のメッセージ

4.2 インストールの確認とアダプターの設定

はじめにドライバーのインストールが正常に行われていることを確認し、さらに必要な設定を行います。

4.2.1 デバイスマネージャによるインストールの確認

- (1) コンピュータの再起動が完了したら、「コントロールパネル」の「システム」をダブルクリックしてください。
- (2) 「デバイスマネージャ」タブをクリックしてください。インストールが正常に行われていれば、「PCMCIA ソケット」の下にご使用のコンピュータにインストールされている PCMCIA コントローラの名前が、「ネットワークアダプタ」の下に「Allied Telesis LA-PCM V3 Ethernet Card」が表示されます。



図 4.2.1.1 デバイスマネージャ



ご使用のコンピュータが CardBus 対応モデルであり、かつ PCMCIA コントローラが 16bit/32bit 共用タイプである場合、PCMCIA コントローラは同じ名称が 2 列以上表示されます。

本製品のアイコンに「?」「!」のマークがついていたり、「その他のデバイス」「不明なデバイス」の下にある場合は、インストールに失敗しています。詳しくは、「4.5 ドライバーのトラブル」(p.25)をご覧ください。

- (3) 「Allied Telesis LA-PCM V3 Ethernet Card」を選択（反転表示）し、「プロパティ」ボタンをクリックしてください。「情報」タブを選択し、「デバイスの状態」欄に「このデバイスは正常に動作しています。」と表示されていることを確認してください。



図 4.2.1.2 本製品のプロパティ（「情報」タブ）



Version B/C で、「ドライバ」タブを選択すると、「このデバイスにはドライバファイルが必要でないか、または組み込まれていません。」というメッセージが表示されることがありますが、使用上、支障はありません。安心してご使用ください。

- (4) 本製品が使用する I/O アドレス、インタラプト (IRQ) などは Windows95 によって自動的に設定されます。「リソース」タブを選択すると、これらを確認することができます。



図 4.2.1.3 本製品のプロパティ（「リソース」タブ）

4.2.2 PC カード (PCMCIA) による確認

「コントロールパネル」の「PC カード (PCMCIA)」をダブルクリックします。「ソケットの状態」タブを選択し、該当するソケットに「Allied Telesis LA-PCM V3 Ethernet Card」が表示されていることを確認します。



図 4.2.2.1 ソケットの状態

4.2.3 ネットワークの設定

「コントロールパネル」の「ネットワーク」をダブルクリックし、使用するプロトコル、クライアントなどの設定を行います。インターネットへのアクセスを行うためには (WWW ブラウザーなどをご使用になるためには) TCP/IP プロトコルが必須です。設定に関する詳細は、お客様の環境におけるシステム管理者にご相談ください。



図 4.2.3.1 プロトコルなどの設定

必要な設定を終えたら、「ネットワーク」ダイアログの「OK」ボタンをクリックしてください。再起動を促すダイアログが表示されます。設定内容は、再起動後から有効となります。

4.3 ドライバーの削除

(1) 「コントロールパネル」 「システム」 「デバイスマネージャ」と進み、「ネットワークアダプタ」の下から項目「Allied Telesis LA-PCM V3 Ethernet Card」を選択し、「削除 (E)」ボタンをクリックしてください。



図 4.3.0.1 システムのプロパティ (削除)

(2) 下のダイアログが表示されたら、「OK」ボタンをクリックします。



図 4.3.0.2 デバイス削除の確認



注意

Windows95 Version C の場合、削除に関する選択肢が表示されますので、「すべての設定から削除」ラジオボタンを選択して、「OK」ボタンをクリックしてください。

(3) 「ネットワークアダプタ」のアイコンが消えたことを確認し、「システムのプロパティ」の「閉じる」ボタンをクリックしてください。



図 4.3.0.3 削除後のデバイスマネージャ

(4) タスクバーの PC カードアイコンをダブルクリックします。



図 4.3.0.4 PC カードアイコン

- (5) 「PC カード (PCMCIA) のプロパティ」が表示されます。本製品が挿入されていたソケットの表記が「-」(画面では「ソケット2」となっています。該当するソケットを選択して、「終了」ボタンをクリックしてください。



図 4.3.0.5 デバイス削除後の「ソケットの状態」

- (6) 「OK」ボタンをクリックしてください。

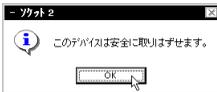


図 4.3.0.6 PC カード取り外しの確認

- (7) PC カードスロットから本製品を抜きます。
- (8) 「PC カード (PCMCIA) のプロパティ」の「ソケットの状態」で該当スロットが「空」と表示されます。

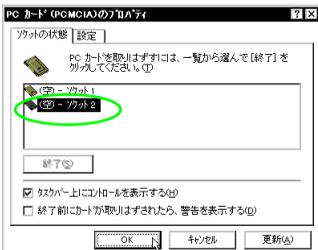


図 4.3.0.7 取り外し後の「ソケットの状態」

- (9) タスクバー上でPCカードアイコンが消えていることもご確認ください。以上で削除の手続きは終了です。



図 4.3.0.8 PC カード取り外し後のタスクバー

4.4 再インストール

ドライバーを再インストールする手順は以下の通りです。

- (1) 「4.3 ドライバーの削除」(p.24) の手順にしたがい、本製品のドライバーを削除します。
- (2) 「4.1.2 新規インストール」(p.21) の手順にしたがい、本製品のドライバーをインストールします。

4.5 ドライバーのトラブル

ここでは、ドライバーのインストールに伴うトラブルの代表的な例と、その対処法について説明します。



以下の手順は、本製品をPCカードスロットに取り付けた状態で行ってください。

4.5.1 本製品を認識しない

「正常にインストールできない」場合や、「PC カードが検出されない」場合、また「4.2.1 デバイスマネージャによるインストールの確認」(p.23)にしたがって確認を行うと、「Allied Telesis LA-PCM V3 Ethernet Card」アイコンが以下のようにになっている場合は、ドライバーのインストールに失敗しています。

- ・「ネットワークアダプタ」の項目がない
- ・「その他のデバイス」や「不明なデバイス」の下に入ってしまった
- ・デバイスマネージャで「!」「?」マークが付く
- ・「Allied Telesis LA-PCM V3 Ethernet Card」アイコンが2つ以上ある



「ネットワークアダプタ」の項目がないとか、本製品のアイコンが「その他のデバイス」や「不明なデバイス」の下に入ってしまう原因として、ドライバーのインストール中に行われるWindows95関連ファイル (netapi.dll など) のインストールをキャンセルしてしまった場合などが考えられます。

このようなときは、ドライバーを一旦削除し、再インストールを行います。以下の手順を実行してください。

- (1) 不正にインストールされた「Allied Telesis LA-PCM V3 Ethernet Card」アイコンを選択し、「削除」ボタンをクリックしてください。
- (2) 「4.4 再インストール」(p.25) の手順にしたがって、ドライバーをインストールしなおしてください。

4.5.2 デバイスマネージャで「×」が付く

デバイスマネージャの「Allied Telesis LA-PCM V3 Ethernet Card」アイコンに「×」マークが付いている場合は、デバイスが「使用不可」に設定されています。以下の手順にしたがって使用許可の状態に切り替えてください。

- (1) 「Allied Telesis LA-PCM V3 Ethernet Card」を選択（反転表示）し、「プロパティ」ボタンをクリックし、「情報」タブを表示します（図 4.2.1.2 参照）。
- (2) 「デバイスの使用」欄の「このハードウェアプロファイルで使用不可にする」のチェック「✓」を外してください。

4.5.3 PCMCIA コントローラが正しく表示されない

本製品のドライバーは、PCMCIA コントローラと協調して動作します。そのため、PCMCIA コントローラが正しくインストールされていない状況では、本製品のドライバーは動作することができません。



ご使用のコンピュータのPCMCIAコントローラ専用ドライバーが、フロッピーディスクなどで提供されていることがあります。以下で説明する手順を実行する前に、必ずご使用のコンピュータのマニュアルを確認し、そのマニュアルに記載されている手順でPCMCIAコントローラの再インストールを行ってください。また、専用のドライバーが提供されていない場合は、どのようなドライバーがインストールされているかを記録した後（下記参照）、以下の手順を実行してください。



このようなときは、Windows95のシステムレポート出力機能を利用すると便利です。レポートを出力するには、「コントロールパネル」「システム」「デバイスマネージャ」とどどり、「印刷」ボタンをクリックします。「レポートの種類」では「すべてのデバイスとシステムの概要」を選択し、以後画面の指示にしたがってください。



CardBus 対応のコンピュータ機種には、使用する PC カードに応じて 2 種類（16bit/32bit）の PCMCIA コントローラを切り替えなければならぬ場合がありますのでご注意ください。詳細は、ご使用のコンピュータのマニュアルもしくは、コンピュータのメーカーにご確認ください。

- 「1. デバイスマネージャによるインストールの確認」（「4.2 インストールの確認とアダプターの設定」（p.23）参照）にしたがってインストールの確認を行った際に、「PCMCIA ソケット」の下に表示される PCMCIA コントローラのアイコンに「？」、「！」のマークが付いている場合は、次の手順を実行してみてください。
- (1) 「コントロールパネル」「システム」「デバイスマネージャ」と進みます。
- (2) 「PCMCIA ソケット」の下にある PCMCIA コントローラを選択し、「削除」ボタンをクリックしてください。

- (3) 「デバイス削除の確認」ダイアログが表示されます。「OK」ボタンをクリックしてください。
- (4) 「デバイスマネージャ」から「PCMCIA ソケット」のアイコンが消えていることを確認します。
- (5) Windows95を終了し、コンピュータの電源をオフにした後、本製品を PC カードスロットから取り外します。
- (6) 再びコンピュータの電源をオンにします。「コントロールパネル」ウィンドウを表示し、「PC カード(PCMCIA)」アイコンが消えていることを確認します。



Plug & Play 機能により、ドライバーを自動的に読み込んでしまうコンピュータ機種もあります。

- (7) 「ハードウェアの追加」アイコン（コントロールパネル）をダブルクリックしてください。「ハードウェアの追加ウィザード」が起動したら、「次へ>」ボタンをクリックしてください（「ハードウェアウィザード」の実行には数分の時間がかかります）。
- (8) 「はい（通常はこちらを選んでください）」を選択し、続く 2 つの質問に対して「次へ>」ボタンをクリックして進みます。最後に「完了」ボタンをクリックしてハードウェアウィザードを終了してください。
- (9) 続いて、自動的に「PC カード（PCMCIA）ウィザード」が起動します。表示されるメッセージにしたがって操作してください。

4.5.4 リソース値重複の回避

前述の手順にしたがってドライバーの削除および再インストール作業を行っても、なおアイコンに「？」、「！」マークが付いている場合は、他の拡張アダプターとリソースの値が重複している可能性があります。

特に、Plug & Play に対応していない他の拡張アダプターを本製品とともに使用している場合は、その拡張アダプターが使用するリソース値を Windows95 に予め登録（「予約」と呼びます）し、その値が他の Plug & Play 対応デバイス（本製品を含む）によって使用されないように設定することで、値の重複を回避できます。

- (1) Plug & Play 非対応の拡張アダプターが使用するリソースの値（インタラプト（IRQ）I/O ベースアドレス、メモリ、ダイレクトメモリアクセス（DMA））を調べておきます。詳細は、その拡張アダプターのマニュアルをご覧ください。または、メーカーにお問い合わせください。
- (2) 「コントロールパネル」「システム」「デバイスマネージャ」「コンピュータ」「コンピュータのプロパティ」パネル「リソースの予約」と進みます。

- (3) 該当する項目を選択し、「追加」ボタンをクリックします。画面の指示にしたがって予約するリソースの値を登録してください。

5 Windows NT Ver. 4.0

本製品のドライバーを Windows NT Ver.4.0 上にインストールする手順を説明します。なお、本マニュアルでは、Windows NT Workstation を用いて説明を行います。

5.1 準備と確認

本製品のインストールを始める前に、以下のことをご確認ください。

各操作・設定の手順については Windows NT のマニュアル・ヘルプをご覧ください。



警告

Windows NT のハードウェア互換性リスト (Windows NT パッケージに同梱されています) に挙げられていないコンピュータ機種で本製品をご使用になる場合は、お客様の責任においてご使用ください。それらのコンピュータ機種で本製品をご使用になる場合は、ユーザーサポートの対象外とさせていただきますので予めご了承ください。



注意

本マニュアルに記載した内容は一例であり、お客様の使用するコンピュータやネットワーク環境によって、手順や表示画面が異なることがあります。予めご了承ください。



注意

本製品のインストールを Windows NT のインストールと同時にすることは避けてください。必ず、Windows NT のインストールを完了したあとで、本製品のインストールを行ってください。Windows NT は Plug&Play をサポートしていないため、Windows NT と本製品のインストールを同時に行くと、Windows NT のインストール中に本製品が使用するハードウェアリソースが他のデバイスと重複するおそれがあり、重複の回避に手間取ることがあります。



警告

Windows NT では活線挿抜 (コンピュータの電源をオンにしたままでカードの抜き差しを行うこと) はできません。本製品の抜き差しを行う際には必ずコンピュータの電源がオフになっていることをご確認ください。誤って活線挿抜を行った場合に起こった障害についてはユーザーサポートの対象外とさせていただきますので予めご了承ください。

5.2 ドライバーのインストール

ここでは、「ネットワークアダプター用ドライバーを含むネットワーク環境が全くインストールされていない」場合のインストール手順について説明します。また、Windows NT が要求する問い合わせに対して、基本的にはデフォルトで答えると仮定しています。



「ネットワークアダプター用ドライバーを含むネットワーク環境が全くインストールされていない」場合は、「Windows NT ネットワークのインストール」で「まだネットワークに接続しない (D)」を選択したとき、このダイアログが表示されます。

5.2.1 用意するもの

- ・ LA-PCM-T V3 カード本体・メディアケーブル等
- ・ コンピュータ (Windows NT 4.0 インストール済み)
- ・ Windows NT の CD-ROM
- ・ ドライバディスク (2 種類のディスクが付属しています。コンピュータ機種に応じてご使用ください)

5.2.2 リソースの確認

5.2.2.1 概要

Windows NT は Plug & Play をサポートしていないため、本製品が使用するリソースの値をドライバーのインストール時に設定する必要があります。そのため、ドライバーをインストールする前にリソースの空き状況を確認する必要があります。

本製品のドライバーに組み込まれているリソースの工場出荷時の値 (「5.2.2.2 リソースの値」参照) が、他のデバイスによって既に使用されている場合は重複を避けるため本製品の使用する値を変更します。(設定はドライバーのインストール時に表示される設定ダイアログで行います。)そのため、ドライバーをインストールする前に値が重複していないかを確認し、重複している場合は空いている値を調べてください。

リソースの状況を確認するには、コンピュータメーカーで予め定められているデバイスについてはコンピュータのマニュアルをご覧ください。また、本製品を含む拡張デバイスが追加されているコンピュータについては「Windows NT 診断プログラム」(「5.2.2.3 Windows NT 診断プログラムの使用方法」参照)を使用するとそれらの拡張デバイスを含む、リソースの割り当て状況を確認できます。



コンピュータに予め組み込まれているデバイスの中には「Windows NT 診断プログラム」上に表示されないものがありますので、必ずコンピュータのマニュアルと「Windows NT 診断プログラム」の 2 つを用いて確認を行ってください。

5.2.2.2 リソースの値

工場出荷時の値および設定可能な値の範囲は以下の通りです。() 内の表記は、16 進数です。

- ・ I/O ベースアドレス
初期設定値 0x300
設定可能な値 0x200, 0x220, 0x240, 0x260, 0x280, 0x2A0, 0x2C0, 0x2E0, 0x300, 0x320, 0x340, 0x360, 0x380, 0x3A0, 0x3C0, 0x3E0
- ・ IRQ (AT 互換機 / PC98-NX)
初期設定値 10(A)
設定可能な値 3, 4, 5, 7, 9, 10(A), 11(B), 15(F)

- ・ IRQ (PC-9800/PC-9821)
初期設定値 5
設定可能な値 3, 5, 6, 10(A), 12(C)

5.2.2.3 Windows NT 診断プログラムの使用方法



ここでは AT 互換機を使用して説明します。

- (1) 「スタート」「プログラム」「管理ツール」「Windows NT 診断プログラム」と進み、「Windows NT 診断プログラム」を起動します。



図 5.2.2.1 Windows NT 診断プログラムの起動

- (2) 「リソース」タブを選択します。この段階では「IRQ」(インタラプト)の画面が表示されています。IRQの空き状況の参考にしてください。デバイスの中には、必ずコンピュータのマニュアルなども確認してください。

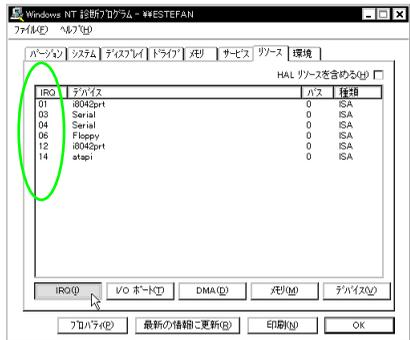


図 5.2.2.2 リソースの表示 (IRQ)

- (3) 「I/O ポート」タブを選択し、I/O Base Address (「アドレス」の先頭値)の空き状況の参考にしてください。

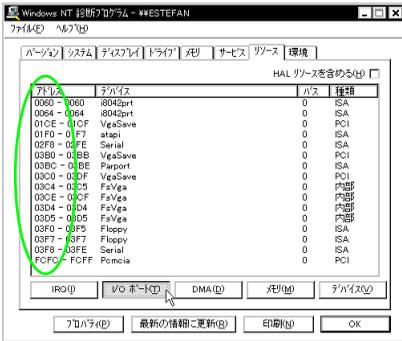


図 5.2.2.3 リソースの表示 (I/O Base Address)

- (4) Windows NT 診断プログラムを終了します。

5.3 ドライバの新規インストール

- (1) コンピュータの電源をオフにし、本製品をコンピュータの PC カードスロットに挿入します。
- (2) 本製品をネットワークに接続します。
- (3) 「スタート」 「設定」 「コントロールパネル」に進み、「ネットワーク」アイコンをダブルクリックしてください。



図 5.3.0.1 「ネットワーク」(コントロールパネル)

- (4) 下のダイアログが表示されます。「今すぐインストールしますか?」の問いに対して、「はい(Y)」ボタンをクリックしてください。

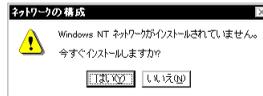


図 5.3.0.2 ネットワークのインストール開始



「Windows NT ネットワークのインストール」で「まだネットワークに接続しない(D)」を選択したとき、このダイアログが表示されます。このダイアログではなく「ネットワーク」パネルが表示された場合は、既にネットワークに関する WindowsNT ファイルがインストールされています。この場合は「ネットワーク」パネルの「アダプタ」タブ 「追加」と進むと、手順 (7) の図 5.3.0.5 の画面が表示され、本製品のみインストールが始まります。

- (5) 「ネットワークセットアップウィザード」ダイアログが表示されます。「ネットワークに接続(W)」にチェックマークを付け、「次へ(N)>」ボタンをクリックしてください。



図 5.3.0.3 「ネットワークウィザード」の起動

- (6) 次の画面が表示されたら、「一覧から選択(S)...」ボタンをクリックしてください。



図 5.3.0.4 ネットワークアダプタは一覧から選択

- (7) 「ディスク使用」ボタンをクリックしてください。



図 5.3.0.5 ネットワークアダプタの選択にディスクを使用

- (8) 次のダイアログが表示されますので、ドライバーディスクをディスクドライブに挿入し、パス「A:¥windows.nt¥40」を入力し、「OK」ボタンをクリックしてください。(ここでは、フロッピーディスクドライブを「A:」と仮定します。)

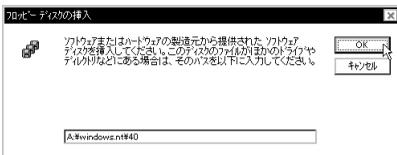


図 5.3.0.6 ドライバーファイルの所在の指定

- (9) 「CentreCOM LA-PCM V3 Adapter」を選択し、「OK」ボタンをクリックしてください。

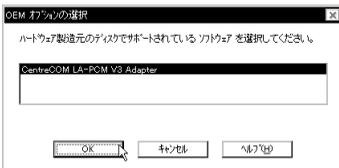


図 5.3.0.7 選択するドライバーを確認

- (10) 「ネットワークアダプタ (A):」の「CentreCOM LA-PCM V3 Adapter」にチェックマークを付け、「次へ (N):」ボタンをクリックしてください。



図 5.3.0.8 ドライバーファイルの検索開始

- (11) 使用するネットワークプロトコルにチェックマークを付け、「次へ (N):」ボタンをクリックしてください。(詳細はシステ

ム管理者にご相談ください。)ここでは、「TCP/IP プロトコル」のみをチェックすると仮定します。



図 5.3.0.9 使用するネットワークプロトコルをチェック

- (12) 使用するサービスを設定し、「次へ (N)>」ボタンをクリックしてください。お客様のネットワークでどのようなサービスが使用されているかは、システム管理者にご相談ください。



図 5.3.0.10 使用するサービスをチェック

- (13) メッセージを確認して、「次へ (N)>」ボタンをクリックしてください。



図 5.3.0.11 ネットワークコンポーネントのインストール開始

- (14) Windows NT のインストール元のディレクトリを指定してください。AT 互換機の場合は「¥I386」、PC-98 の場合は「¥PC98」となります。(ここでは CD-ROM のドライブ名を「D:」と仮定します。)

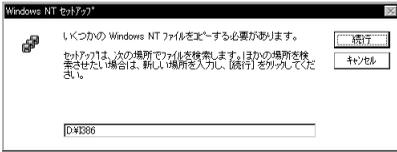


図 5.3.0.12 WindowsNT ファイルの所在の指定

- (15) 続いて、本製品の設定画面が表示されます。「IRQ (インタラプト)」と「IOBase Address (I/O ベースアドレス)」は他のデバイスと重複しない適切な設定値を選択し、「OK」ボタンをクリックしてください。下記画面は、AT 互換機 / PC98-NX におけるデフォルトの例です。PC-9800/PC-9821 の場合、デフォルトの IRQ は「5」となります。

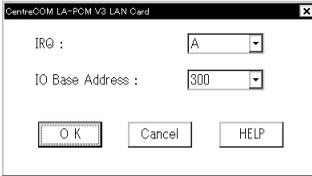


図 5.3.0.13 本製品の設定確認 (AT 互換機 / PC98-NX の例)

- (16) ドライバーおよび Windows ファイルのコピーが始まります。手順 (11) で「TCP/IP」を選択した場合はここで「DHCP を使用するか?」を質問されます。ここでは、デフォルトである「いいえ (N)」ボタンをクリックすると仮定します。

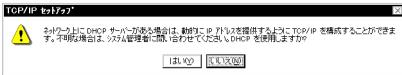


図 5.3.0.14 DHCP メッセージ

- (17) 手順 (16) で「DHCP を使用しない」設定とした場合は「TCP/IP のプロパティ」として IP アドレスなどの値を設定しなければなりません。これらの値は、お客様の環境における値を入力してください。

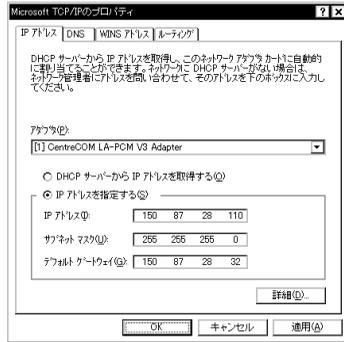


図 5.3.0.15 TCP/IP の設定 ('IP アドレス' タブ)

- (18) DNS (Domain Name System) の設定をします。「DNS」のタブをクリックして、各項目を設定してください。下は起動時の画面です。



図 5.3.0.16 TCP/IP の設定 ('DNS' タブ)

- (19) 続いて、「WINS (Windows Internet Name Service) アドレス」の設定を行います。次の画面では、「Windows 名前解決に DNS を使う (N)」を選択すると仮定しました。

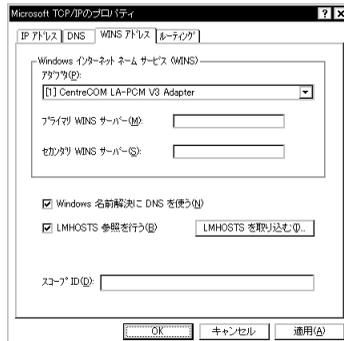


図 5.3.0.17 TCP/IP の設定 (「WINS アドレス」タブ)

必要であれば さらに「ルーティング」の設定を行い、最後に「OK」ボタンをクリックしてください。これらの設定の詳細についてはシステム管理者にご確認ください。



注意

この画面は Windows NT Workstation のものです。Windows NT Server をご使用の場合はさらに「DHCP リレー」タブがあります。DHCP リレーについての詳細は Windows NT Server のマニュアルまたはオンラインヘルプをご覧ください。

(20) 「次へ (N)」ボタンをクリックしてください。



図 5.3.0.18 バインドの確認

(21) 「次へ (N)」ボタンをクリックしてください。



図 5.3.0.19 ネットワーク起動の確認

(22) 「次へ (N)」ボタンをクリックしてください。ここでは「ワークグループ (W)」をそのまま使用すると仮定します。詳細はシステム管理者にご確認ください。



図 5.3.0.20 ワークグループなどの確認

(23) 「完了」ボタンをクリックしてください。



図 5.3.0.21 インストールの完了

(24) 「はい (Y)」ボタンをクリックし、(フロッピーディスクを取り出して) コンピュータを再起動してください。

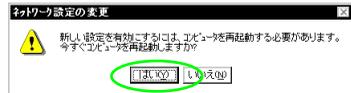


図 5.3.0.22 再起動の確認

5.4 インストール後

5.4.1 リソースの確認

コンピュータを再起動すると、本製品にリソースが割り当てられ、使用可能な状態となります。Windows NT 診断プログラムでデバイス「lapcmv34」にインストール時に指定した値 (IRQ および I/O ポートの値) が割り当てられていることを確認してください。

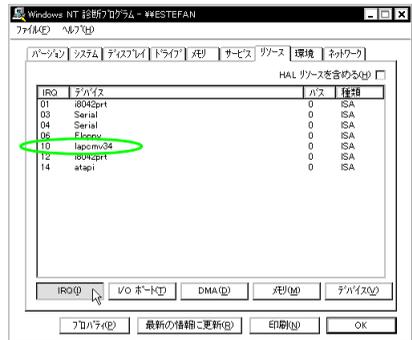


図 5.4.1.1 インストール後の確認 (例: IRQ)



注意

「デバイス」タブ 「lapcmv34」と進むと、本製品に割り当てられたリソースが一覧表示されます。(ただし、メモリについては表示されません。)

5.4.2 本製品を使用しないとき

ドライバーのインストール後、一時的に本製品を使用しないとき (= PC カードスロットに本製品が挿入されていない、またはネットワーク

ケーブルをメディアケーブルから外している場合など)はドライバーをアンロードしてください。ドライバーがロードされたまま前述のことを行った場合、Windows NT はこれらの現象をネットワークのエラーとして検出し、イベントビューアによる警告が表示されるようになります。この現象はドライバーをアンロードすることによって回避できます。

- (1) 「コントロールパネル」 「ネットワーク」 「バインド」と進みます。
- (2) 本製品のアイコンを選択し、「無効」ボタンをクリックすると本製品のアイコンが無効アイコンに変わります。
- (3) 同様の手続きを、本製品にバインドしているプロトコル全てに行います。

5.5 ドライバーの削除と再インストール

本製品の登録内容を削除し、再びインストールする手順は以下のとおりです。ただし、ドライバーを削除しても、本製品にバインドしていたプロトコルやサービスは削除されません(一部の設定値、例えばTCP/IPにおけるIPアドレスなどは削除されます)。したがって、本製品を再インストールすれば、再びそれらのプロトコル、サービスなどを使用できます。

5.5.1 ドライバーの削除

- (1) 「マイコンピュータ」 「コントロールパネル」 「ネットワーク」とたどって行き、「ネットワーク」パネルの「アダプタ」タブをクリックしてください。
- (2) 「ネットワークアダプタ (N):」で「CentreCOM LA-PCM V3 Adapter」を選択し、「削除 (R)」ボタンをクリックしてください。



図 5.5.1.1 ネットワークアダプタを削除

- (3) 「はい」ボタンをクリックし、(フロッピーディスクがフロッピーディスクドライブに入っている場合は取り出して)コンピュータを再起動します。

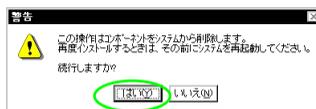


図 5.5.1.2 再起動の確認

5.5.2 再インストール

終了後、再びドライバーのインストールを行う場合は「ネットワーク」(コントロールパネル)を起動し、「アダプタ」タブで「追加...」をクリックしてください。

(「5.3 ドライバーの新規インストール」の手順(7)から再開することになります。)

5.6 ドライバーのトラブル

- ・「ネットワークコンピュータ」アイコンをダブルクリックしても、ネットワークに接続されているコンピュータが参照できない。

上記のような現象が見られ、本製品が正しく動作しない場合は、インストール中に設定した「IRQ(インタラプト)」、IO Base Address (I/O ベースアドレス)」の設定が、別のデバイスと競合していることが考えられます。

「5.2.2.3 Windows NT 診断プログラムの使用方法」(p.28)を参照し、デバイス「lapcmv34」に正しくリソースが割り当てられていることを確認してください。正しくリソースが割り当てられていない場合は、「コントロールパネル」 「ネットワーク」と進み、アダプタタブで「CentreCOM LA-PCM V3 Adapter」を選択し、「プロパティ」ボタンをクリックして、「IRQ(インタラプト)」、IO Base Address (I/O ベースアドレス)」の設定を変更してみてください。

6 Windows NT Ver. 3.51

本製品のドライバーをWindows NT Ver. 3.51 上にインストールする手順を説明します。なお、本マニュアルではWindows NT Workstationを用いて説明を行います。

6.1 準備と確認

本製品のインストールを始める前に、以下のことをご確認ください。各操作・設定の手順についてはWindows NTのマニュアル・ヘルプをご覧ください。



警告

Windows NTのハードウェア互換性リスト(Windows NTパッケージに同梱されています)に挙げられていないコンピュータ機種で本製品をご使用になる場合は、お客様の責任においてご使用ください。それらのコンピュータ機種で本製品をご使用になる場合は、ユーザーサポートの対象外とさせていただきますので予めご了承ください。



注意

本マニュアルに記載した内容は一例であり、お客様の使用するコンピュータやネットワーク環境によって、手順や表示画面が異なることがあります。予めご了承ください。



注意

本製品のインストールをWindows NTのインストールと同時に行うことは避けてください。必ず、Windows NTのインストールを完了したあとで、本製品のインストールを行ってください。Windows NTはPlug&Playをサポートしていないため、Windows NTと本製品のインストールを同時に行くと、Windows NTのインストール中に本製品が使用するハードウェアリソースが他のデバイスと重複するおそれがあり、重複の回避に手間取ることがあります。



警告

Windows NTでは活線挿抜(コンピュータの電源をオンにしたままでカードの抜き差しを行うこと)はできません。本製品の抜き差しを行う際には必ずコンピュータの電源がオフになっていることをご確認ください。誤って活線挿抜を行った場合に起こった障害についてはユーザーサポートの対象外とさせていただきますので予めご了承ください。

6.2 ドライバーのインストール

「ネットワークアダプター用ドライバーを含むネットワーク環境が全くインストールされていない」場合のインストール手順について説明します。また、Windows NTが要求する問い合わせに対して、基本的にはデフォルトで答えると仮定しています。



「ネットワークアダプター用ドライバーを含むネットワーク環境が全くインストールされていない」場合は、「Windows NT ネットワークのインストール」で「まだネットワークに接続しない(D)」を選択した場合に相当します。

6.2.1 用意するもの

- LA-PCM-T V3 カード本体・メディアケーブル等
- コンピュータ (Windows NT 3.51 インストール済み)
- Windows NT の供給ディスク (フロッピーディスクまたはCD-ROM)
- ドライバーディスク (2種類のディスクが付属しています。コンピュータ機種に応じてご使用ください)

6.2.2 リソースの確認

6.2.2.1 概要

Windows NTはPlug & Playをサポートしていないため、本製品が使用するリソースの値をドライバーのインストール時に設定する必要があります。そのため、ドライバーをインストールする前にリソースの空き状況を調べる必要があります。

本製品のドライバーに組み込まれているリソースの工場出荷時の値(「6.2.2.2 リソースの値」参照)が、他のデバイスによって既に使用されている場合は重複を避けるため本製品の使用する値を変更します。(設定はドライバーのインストール時に表示される設定ダイアログで行えます。)そのため、ドライバーをインストールする前に値が重複していないかを確認し、重複している場合は空いている値を調べてください。

リソースの状況を調べるには、コンピュータメーカーで予め定められているデバイスについてはコンピュータのマニュアルをご覧ください。また、本製品を含む拡張デバイスが追加されているコンピュータについては「Windows NT 診断プログラム」(「6.2.2.3 Windows NT 診断プログラムの使用方法」参照)を使用するとそれらの拡張デバイスを含む、リソースの割り当て状況を確認できます。



注意

コンピュータに予め組み込まれているデバイスの中には「Windows NT 診断プログラム」上に表示されないものがありますので、必ずコンピュータのマニュアルと「Windows NT 診断プログラム」の2つを用いて確認を行ってください。

6.2.2.2 リソースの値

工場出荷時の値および設定可能な値の範囲は以下の通りです。()内の表記は、16進数です。

- I/O ベースアドレス

初期設定値	0x300
設定可能な値	0x200, 0x220, 0x240, 0x260, 0x280, 0x2A0, 0x2C0, 0x2E0, 0x300, 0x320, 0x340, 0x360, 0x380, 0x3A0, 0x3C0, 0x3E0
- IRQ (AT 互換機 / PC98-NX)

初期設定値	10(A)
設定可能な値	3, 4, 5, 7, 9, 10(A), 11(B), 15(F)

- IRQ (PC-9800/PC-9821)
 - 初期設定値 5
 - 設定可能な値 3, 5, 6, 10(A), 12(C)

6.2.2.3 Windows NT 診断プログラムの使用法

- (1) 「プログラムマネージャ」「管理ツール」「Windows NT 診断プログラム」と進み、「Windows NT 診断プログラム」を起動します。



図 6.2.2.1 Windows NT 診断プログラムの起動

- (2) 「IRQ/ ポートの状態」を選択します。



図 6.2.2.2 IRQ/ ポートの状態

- (3) 「割り込み / ポート」画面が表示されます。割り込み (IRQ) は「ベクタ」を、ポート (I/O アドレス) は「物理アドレス」の欄を、それぞれご覧の上、空き状況の参考にご覧ください。デバイスの中には、この画面に表示されないものもありますので、必ずコンピュータのマニュアルなども確認してください。



図 6.2.2.3 リソースの表示 (IRQ, I/O Base Address)

- (4) Windows NT 診断プログラムを終了します。

6.3 ドライバーの新規インストール

- (1) コンピュータの電源をオフにし、本製品をコンピュータの PC カードスロットに挿入します。
- (2) 本製品をネットワークに接続します。
- (3) 「コントロールパネル」の「ネットワーク」アイコンをダブルクリックします。



図 6.3.0.1 ネットワーク (コントロールパネル)

- (4) 「直ちにネットワークを組み込みますか?」の問いに対して、「はい」ボタンをクリックしてください。



図 6.3.0.2 ネットワークの組み込み開始

- (5) 「Windows NT セットアップ」が起動します。Windows NT の CD-ROMまたはフロッピーディスクをドライブに挿入し、Windows NT の配布ファイルへのフルパス(AT 互換機では「1386」、PC-98 では「PC98」となります)を入力します。(ここでは、ドライブ名を「D:」と仮定します。)

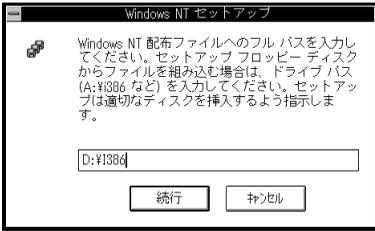


図 6.3.0.3 WindowsNT ファイルの所在の指定



ネットワーク環境が既にインストールされている場合はこのダイアログは表示されず、「ネットワークの設定」が起動します。この場合は手順 (12) に進み、本製品のみをインストールを実行してください。

- (6) 「検出しない」ボタンをクリックしてください。

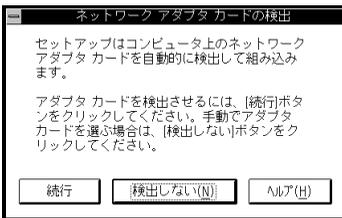


図 6.3.0.4 ネットワークアダプタカードの検出

- (7) 「続行」ボタンをクリックしてください。

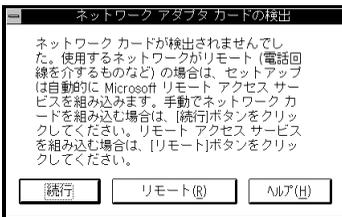


図 6.3.0.5 ネットワークカードを組み込みの確認

- (8) 「ネットワークアダプタの追加」ダイアログが表示されます。「ネットワークアダプタカード(N)」: リストボックスで最下行の「<なし>後でネットワーク インターフェイスを選ぶ」を選択し、「続行」ボタンをクリックします。

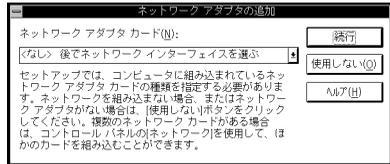


図 6.3.0.6 ネットワークインタフェースは後で選ぶ

- (9) 「OK」ボタンをクリックします。

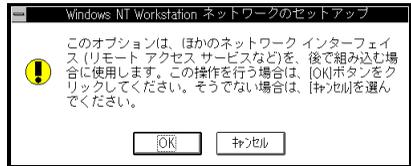


図 6.3.0.7 操作の確認

- (10) ネットワークで使用されているプロトコルをチェックして「続行」ボタンをクリックします。お客様のネットワークでどのようなプロトコルが使用されているかは、システム管理者にご相談ください。ここでは TCP/IP のみをチェックすると仮定します。

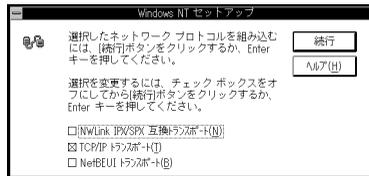


図 6.3.0.8 プロトコルの選択

- (11) 手順 (10) で TCP/IP を選択した場合は TCP/IP オプションに関する設定画面が表示されます。お客様の環境に合わせて適宜設定し、「続行」ボタンをクリックしてください。

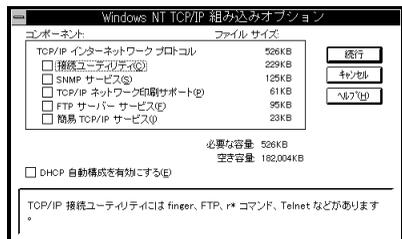


図 6.3.0.9 TCP/IP オプションの選択

- (12) 「ネットワークの設定」ダイアログが表示されます。「アダプタカードの追加 (P)」ボタンをクリックしてください。

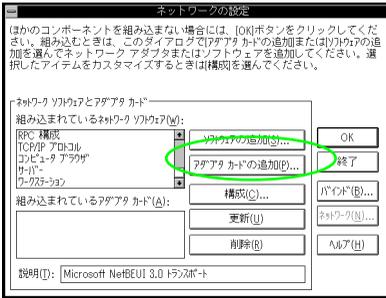


図 6.3.0.10 アダプタカードの追加

- (13) 「ネットワークアダプタの追加」ダイアログが表示されます。「ネットワークアダプタカード(N)」リストから最下行の「<その他>各メーカーのディスクが必要」を選択し、「続行」ボタンをクリックします。

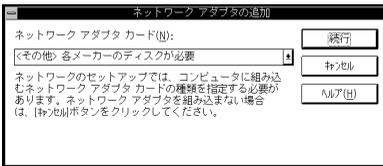


図 6.3.0.11 ネットワークアダプタカードの選択にはディスク使用

- (14) ドライバディスクをフロッピーディスクドライブに挿入し、パス「A:\windows.nt\351」を入力してください。(ここでは、フロッピーディスクドライブを「A:」と仮定します。)

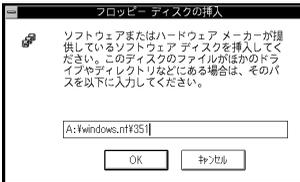


図 6.3.0.12 ドライバファイルのパス (所在) の入力

- (15) 「CentreCOM LA-PCM V3 Adapter」がアクティブになっていることを確認して、「OK」ボタンをクリックしてください。



図 6.3.0.13 ネットワークアダプタドライバの確認

- (16) 続いて本製品の設定画面が表示されます。適切な設定値を選択し、「OK」ボタンをクリックしてください。次の画面は、AT 互換機 /PC98-NX におけるデフォルトの例です。PC-9800/PC-9821 の場合、デフォルトのIRQ は「5」となります。

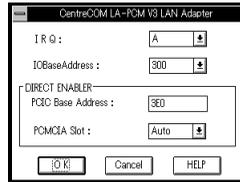


図 6.3.0.14 本製品の設定 (AT 互換機 /PC98-NX の例)

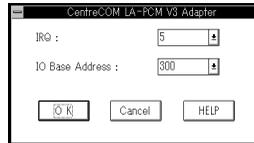


図 6.3.0.15 本製品の設定 (PC-9800/9821 の例)

- IRQ、IOBaseAddress
これら2項目は他のデバイスと重複しない適切な数値を選択してください。
- DIRECT ENABLER (次ページの参考もご覧ください)
AT 互換機 /PC98-NX をご使用の場合、「Direct Enabler」に関する2項目について設定します。基本的に、表示されているデフォルト値のまま変更は必要ありませんが、本アダプターがうまく動作しないとき、下記の手順にしたがって設定を行ってください。
PC-9800/PC-9821 をご使用の場合、デフォルト値のままご使用ください。

PCIC Base Address

ホスト PCMCIA コントローラアドレスの値を指定します。デフォルト値は 3E0h です。一般的に、コンピュータのホスト PCMCIA コントローラアドレスの値は 0x3E0 (PCMCIA Release2.1 規格による推奨値) に設定されていますが、コンピュータの機種によっては異なる値を使用しているものもありますので、必ずご使用のコンピュータのマニュアルでご確認ください。

PCMCIA Slot

本製品を挿入している PC カードスロットの番号 (1 または 2) を指定します。デフォルトは Auto (自動選択) ですが、できる限り番号で指定してください。スロットの番号は「1」「2」で指定しますが、ご使用のコンピュータが異なる表記を用いている場合もあります。一般的には「0」「1」で表記されている場合は「0」「1」「2」「上」「下」で表記されている場合は「上」「2」「下」「1」と置き換

えればよいのですが、機種によっては逆の場合もありますので、必ずコンピュータのマニュアルをご確認ください。

(参考) DIRECT ENabler :本ドライバーには PCMCIA.SYS を使用せず、直接 PCMCIA コントローラ (PCIC) を制御して本製品を活性化する機能である Direct Enabler が組み込まれています。Direct Enabler は、本製品を活性化するために PCIC Base Address を使用します。ほとんどのコンピュータの PCIC Base Address は「PCMCIA Release2.1規格」の推奨値である「0x3E0」となっています。しかしながら、推奨値ではないコンピュータも存在しますので、この場合は Direct Enabler にコンピュータが使用している PCIC Base Address の値を設定する必要があります。

(17) 「バインド」ボタンをクリックしてください。

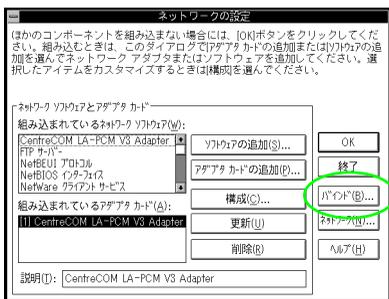


図 6.3.0.16 バインドの設定

(18) 使用するプロトコルスタックを選択し、「OK」ボタンをクリックしてください。プロトコルスタックが本製品にバインドされます。



図 6.3.0.17 プロトコルの選択

(19) 続いてソフトウェアの設定を行います。ここでは TCP/IP の場合について説明します。「TCP/IP プロトコル」を選択し、「構成(C)...」ボタンをクリックしてください。

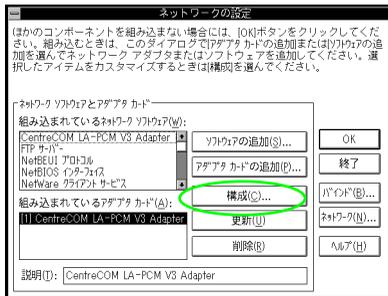


図 6.3.0.18 TCP/IP のカスタマイズ

(20) TCP/IP の設定を行います。設定内容についてはネットワーク管理者にご確認ください。以下は起動時の画面です。設定を終えたら「OK」ボタンをクリックしてください。

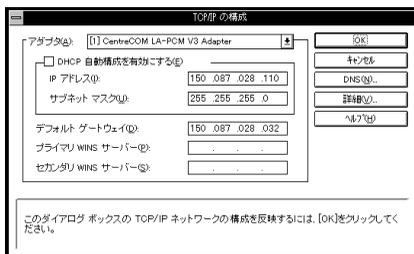


図 6.3.0.19 TCP/IP の構成 (起動時)

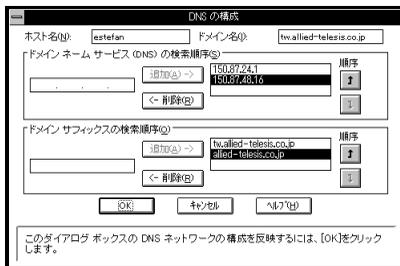


図 6.3.0.20 DNS の構成 (図 6.3.0.19 で「DNS」をクリック)



図 6.3.0.21 TCP/IP の詳細設定 (図 6.3.0.19 で「詳細」をクリック)

- (21) 必要に応じて他のネットワークソフトウェアを追加またはカスタマイズし、「終了」ボタンをクリックします。(詳細はネットワーク管理者にご確認ください。)

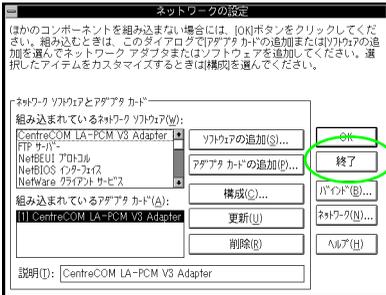


図 6.3.0.22 ネットワークセットアップの終了

- (22) ここで、次のダイアログが表示されます。「OK」ボタンをクリックしてください。

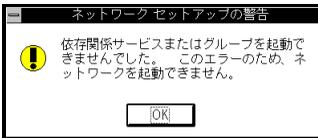


図 6.3.0.23 「OK」ボタンをクリック

- (23) 次のダイアログが表示されたら、「いいえ」ボタンをクリックしてください。

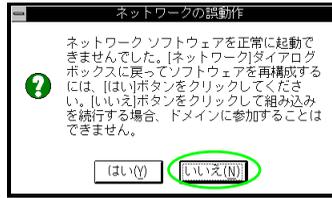


図 6.3.0.24 「いいえ」ボタンをクリック

- (24) 参加するドメイン/ワークグループを設定し「OK」ボタンをクリックします。詳細はシステム管理者にご相談ください。

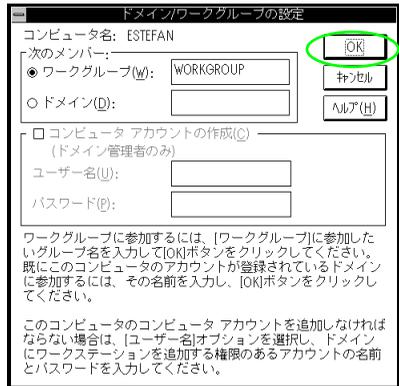


図 6.3.0.25 ワークグループなどの設定

- (25) 次の画面が表示されたらフロッピーディスクをディスクドライブから取りだし、「コンピュータの再起動」アイコンをクリックして再起動します。これで設定内容が有効化されます。

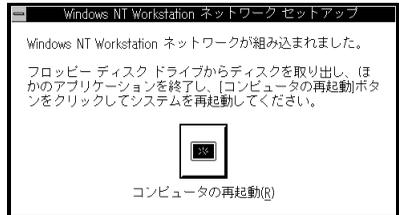


図 6.3.0.26 コンピュータの再起動

6.4 インストール後

6.4.1 リソースの確認

コンピュータを再起動すると、本製品にリソースが割り当てられ、使用可能な状態となります。Windows NT 診断プログラムでデバイス「lapcmv3*」（*は番号）にインストール時に指定した値（「割り込み/ポート」の値）が割り当てられていることを確認してください

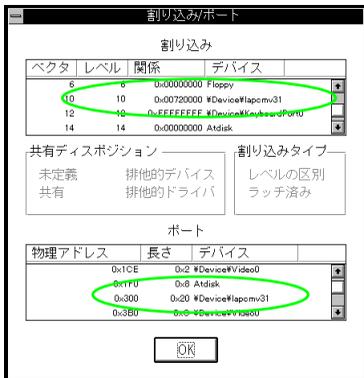


図 6.4.1.1 割り込み/ポート

6.4.2 本製品を使用しないとき

ドライバーのインストール後、一時的に本製品を使用しないとき（＝PC カードスロットに本製品が挿入されていない、またはネットワークケーブルをメディアケーブルから外している場合など）はドライバーをアンロード（バインドしない）してください。ドライバーがロードされたまま前述のことを行った場合、Windows NT はこれらの現象をネットワークのエラーとして検出し、イベントビューアによる警告が表示されるようになります。この現象はドライバーをアンロードすることによって回避できます。

(1) 「コントロールパネル」「ネットワーク」「ネットワークの設定」「バインド(B)...」と進みます（図 6.3.0.16 ~ 図 6.3.0.17 参照）。

(2) 本製品に関する項目全てについて、左端の電球のマークをクリックして電球が消えている状態にしてください。

6.5 ドライバーの削除と再インストール

本製品の登録内容を削除し、再びインストールする手順は以下のとおりです。ただし、ドライバーを削除しても、本製品にバインドしていたプロトコルやサービスは削除されません（一部の設定値、例えば TCP/IP における IP アドレスなどは削除されます）。したがって、本

製品を再インストールすれば、再びそれらのプロトコル、サービスなどを使用できます。

6.5.1 ドライバーの削除

(1) 「プログラムマネージャ」「コントロールパネル」「ネットワーク」とたどって行き、「ネットワークの設定」ダイアログを表示します。「組み込まれているアダプタカード」リストから「CentreCOM LA-PCM V3 Adapter」を選択し、「削除」ボタンをクリックします。

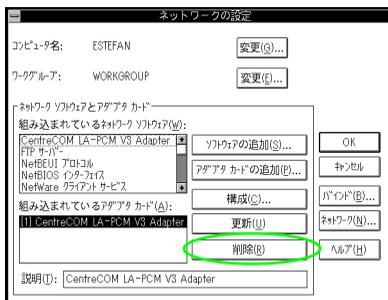


図 6.5.1.1 アダプタカードを削除

(2) 「はい」ボタンをクリックします。

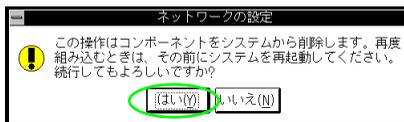


図 6.5.1.2 削除の確認

(3) 「組み込まれているアダプタカード」から「CentreCOM LA-PCM-T V3 Adapter」が消えていることを確認して「OK」ボタンをクリックします。

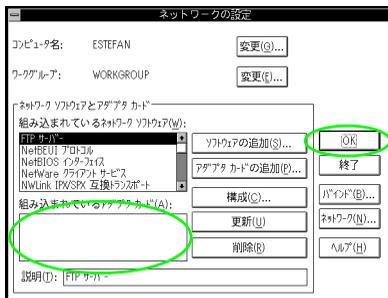


図 6.5.1.3 削除後のネットワーク設定の確認

- (4) 「再起動する」ボタンをクリックして、(フロッピーディスクがドライブに入っている場合は取り出して)コンピュータを再起動します。

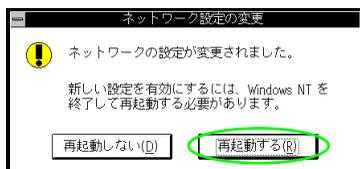


図 6.5.1.4 再起動を実行

6.5.2 再インストール

終了後、再びドライバーのインストールを行う場合はネットワーク(コントロールパネル)を起動し、「アダプタカードの追加...」をクリックしてください。(「6.3 ドライバーの新規インストール」の手順(12)から再開することになります。)

6.6 ドライバーのトラブル

本製品が正しく動作しない場合は、インストール中に設定した「IRQ (インタラプト)」、「IO Base Address (I/O ベースアドレス)」の設定が、別のデバイスと競合していることが考えられます。「6.2.2.3 Windows NT 診断プログラムの使用方法」(p.35)を参照し、デバイス「lapcmv3*」(*は番号)に正しくリソースが割り当てられていることを確認してください。正しくリソースが割り当てられていない場合は、「コントロールパネル」 「ネットワーク」と進み、アダプタタブで「CentreCOM LA-PCM V3 Adapter」を選択し、「構成」ボタンをクリックして、「IRQ (インタラプト)」、「IO Base Address (I/O ベースアドレス)」の設定を変更してみてください。

7 ネットワークのトラブル

「通信できない」とか「故障かな?」と思われる前に、以下のことを確認してください。

7.1 LNK LED は点灯していますか?

LNK (LINK) LED は、ハブ(またはスイッチ)と正しく接続されている場合に点灯するランプです。LNK LED は、本製品とハブの両方に存在します。本製品とハブの両方の LNK LED が点灯していることを確認してください。どちらか一方しか点灯していない、または両方とも点灯しない場合は、以下のことを確認してください。

- ハブの電源がオンになっているか確認してください。
- UTPケーブルが正しく接続されているか確認してください。
- 正しい UTP ケーブルを使用しているか確認してください。本製品とハブとの接続には「ストレートタイプのケーブル」を使用しなければなりません。
- ハブのポートの設定が正しいか確認してください。ハブ機種によっては、ハブ同士を接続するためのポート(カスケードポート)を持つものがあり、通常カスケードポートには設定スイッチが存在します。カスケードポートに本製品を接続するときは、カスケードポートの設定スイッチで同ポートを「MDI-X」や「to pc」に設定しなければなりません(通常ハブのポートとして設定する)。
- ハブの特定のポートが故障している可能性もあります。ケーブルを別のポートに差し替えて、正常に動作するか確認してください。
- UTPケーブルに問題はありますか? ケーブルの不良は外観からは判断しにくい(結線は良いが特性が悪い場合など) 他のケーブルに交換して試験してみてください。
- ハブの通信速度、カードの通信速度を確認してください。

7.2 LNK LED は点灯しているが ...

LNK LED は点灯しているが、通信が遅いなどの障害が発生している場合、以下のことを確認してください。

- UTPケーブルの長さは正しいですか? ふたつのネットワーク機器の直接リンクを形成する UTP ケーブルは、最長 100m と規定されています。
- 正しい UTP ケーブルを使用していますか? 10BASE-T では「カテゴリー 3」以上の UTP ケーブルを使用しなければなりません。
- UTPケーブルに問題はありますか? ケーブルの不良は外観からは判断しにくい(結線は良いが特性が悪い場合など) 他のケーブルに交換して試験してみてください。

A 付録

A.1 製品仕様

1. ハードウェア仕様

- カード規格 :PC Card Standard (PCMCIA Rel. 2.1 / JEIDA Ver. 4.2)
- 信号 : IEEE802.3 10BASE-T

2. 機械的仕様

- 外形 :
カード :54.0 x 85.6 x 5.0 (mm) (Type II PC Card)
メディアケーブル :300 (mm) (モジュラージャック部を含む)
- 重量 :
カード :約 30g
メディアケーブル :約 10g

3. 電気的仕様

- 動作電圧 :DC +5V ± 0.5%
- 消費電流 :最大 70 mA

4. 環境条件

- 動作保証温度 : 0 ~ 55 (PC カードの周囲温度)
(注 : PC カードの周囲温度であって、コンピュータの周囲温度ではありません)
- 保存温度 : -20 ~ +65
- 動作・保存湿度 : 95% 以下 (ただし結露なきこと)

5. 電気雑音の発生防止

- 雑音端子電圧 : VCCI クラス B
- 雑音電界強度 : VCCI クラス B

6. ネットワーク機能

- 転送速度 : 10Mbps
- RAMバッファ : 32K bytes SRAM
- I/O ベースアドレス : 0x200, 0x220, 0x240, 0x260, 0x280, 0x2A0, 0x2C0, 0x2E0, 0x300, 0x320, 0x340, 0x360, 0x380, 0x3A0, 0x3C0, 0x3E0
- インタラプト : 3, 4, 5, 6, 7, 9, 10(A), 11(B), 12(C), 15(F)

A.2 ネットワークインターフェース

10BASE-T インターフェース (MDI) は、RJ-45 型と呼ばれるモジュラージャックが使用されています。

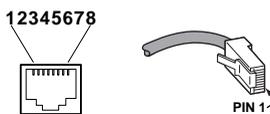


図 A.2.0.1 RJ-45 モジュラージャック、プラグ

ピン番号	信号 (MDIポート)
1	送信データ (+)
2	送信データ (-)
3	受信データ (+)
4	未使用
5	未使用
6	受信データ (-)
7	未使用
8	未使用

図 A.2.0.2 信号線名

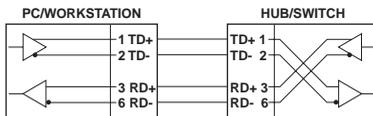


図 A.2.0.3 UTP ケーブル (ストレートタイプ)

A.3 MAC アドレス

イーサネットに接続される機器は、MAC アドレスと呼ばれるアドレスを使って通信を行います。MAC アドレスは機器 (アダプター) のひとつひとつに割り当てられた唯一無二の (unique、ユニークな) アドレスです。

MAC アドレスは、下記の 6 バイト (48 ビット) によって構成されており、本製品の内部に書き込まれているため、ユーザーが変更することはできません。本製品の MAC アドレスは、製品に貼付されている MAC アドレスラベルに記入されています (表記は全て 16 進数)。

00 00 F4 xx xx xx
ベンダー ID 通し番号

- ベンダー ID
LAN ベンダー (LAN 用機器を製造しているメーカー) が IEEE に申請することにより得られる識別番号です。
- 通し番号
この番号は、当社が製品を識別するために割り当てたもので、本製品は、「45 ~ 49」で始まる 6 桁の数値となっています。この通し番号と本製品の「シリアル番号シール」の番号に関連はありません。



MACアドレス（マックアドレスと読みます）は、物理アドレス、ネットワークアドレス、イーサネットアドレスなどと呼ばれることもあります。また、MACアドレスは、TCP/IPの環境で使用されるIPアドレスに関係がありますが、これらは別々のものです。

B 保証

本製品に添付されている「保証書（永久保証）」の「製品保証規定」をお読みになり、「お客さまインフォメーション登録カード」に必要な事項を記入して、当社「お客さまインフォメーション登録係」までご返送ください。「お客さまインフォメーション登録カード」が返送されていない場合、障害発生時のユーザーサポートや修理などを受けられません。

保証の制限

本製品の使用または使用不能によって生じたいかなる損害（人の生命・身体に対する被害、事業の中断、事業情報の損失またはその他の金銭的損害を含み、またこれらに限定されない）については、当社は、その責を一切負わないこととします。

C ユーザーサポート

障害回避などの技術的なサポートを受ける場合は、巻末の「調査依頼書」をプリントアウトしたものに必要事項を記入し、下記にファックスしてください。できるだけ電話による直接の問い合わせは避けてください。ファックスによって詳細な情報を送付していただく方が、電話による問い合わせよりもより早く問題を解決することができます。記入内容の詳細については、「C.1 調査依頼書のご記入にあたって」をご覧ください。なお、都合によりご連絡の遅れることもございますので、予めご了承ください。

アライドテレシス株式会社
サポートセンター

Fax: ☎ 0120-860-662

年中無休 24 時間受付

Tel: ☎ 0120-860-772

月～金（祝・祭日を除く）10:00-19:00

土（祝・祭日を除く）10:00-17:00

C.1 調査依頼書のご記入にあたって

調査依頼書は、お客様のご使用環境で発生した様々な障害の原因を突き止めるためにご記入いただくものです。障害を解決するためにも以下の点にそって、十分な情報をお知らせください。記入用紙で書き切れない場合には、別途プリントアウトなどを添付してください。

ハードウェアとソフトウェア

1. ご使用製品のシリアル番号、製品リビジョン
本製品に貼られたシリアル番号シールのシリアル番号（S/N）、製品リビジョンコード（Rev.）を調査依頼書に記入してください。

(例) 
S/N 000770000002346 Rev 1A

2. ご使用の当社のソフトウェア
当社製ソフトウェアをご使用になっている場合は、そのソフトウェアの種類、バージョン (Ver.)、シリアル番号 (S/N) を記入してください。それらは、フロッピーディスクのラベル上に記入されています。
3. ご使用のコンピュータの機種
ご使用になっているコンピュータのメーカー名、機種名をご記入ください。
4. ご使用の周辺機器
CD-ROMドライブ、サウンドボード、SCSI ボードなどの他社製拡張アダプターや、メモリマネージャなどのユーティリティをご使用の場合はそれら全てについてご記入ください。
5. ご使用のサーバー、UNIX システムの機種、OS など
接続しているサーバーの機種とその環境を可能な限りご記入ください。(例えば、NetWare 5、Windows NT Version 4.0 Server、FreeBSD 2.2.8 など)

お問い合わせ内容

- どのような症状が発生するのか、それはどのような状況で発生するのかをできる限り具体的に (再現できるように) 記入してください。
- 本カードと併用されているユーティリティや、アプリケーションの処理内容もご記入ください。
- エラーメッセージやエラーコードが表示される場合には、表示されるメッセージの内容のプリントアウトなどを添付してください。
- ご使用のOS が Windows98/95、Windows NT の場合、お手数ですが可能な限りシステムレポートを出力し、添付して下さるようお願いいたします。レポートの出力方法は、「C.2 システムレポート添付のお願い」をご覧ください。

接続の構成図

- ネットワークとの接続状況や、使用されているネットワーク機器がわかる簡単な図を添付してください。
- 他社の製品をご使用の場合は、メーカー名、機種名、バージョンなどをご記入ください。

C.2 システムレポート添付のお願い

お問い合わせの際には可能な限りシステムレポート (お使いのコンピュータの詳細情報を OS が自動作成するレポート) を出力の上、「調査依頼書」に添付いただきますようお願いいたします。システムレポートを出力する手順は以下の通りです。

1. Windows 98/95

- (1) コントロールパネルから「システム」を起動し「デバイスマネージャ」タブを表示します。
- (2) 「印刷 (N)...」ボタンをクリックします。

- (3) 「レポートの種類」では「すべてのデバイスとシステムの概要 (A)」を選択してください。以後、画面の指示にしたがってください。

2. Windows NT Ver.4.0

- (1) 「スタート」「プログラム」「管理ツール (共通)」「Windows NT 診断プログラム」と進み、「Windows NT 診断プログラム」を起動します。
- (2) 「印刷 (N)...」ボタンをクリックします。
- (3) 「レポートの作成」が表示されます。各オプションについては、「範囲」は「すべてのタブ (A)」を、「詳細レベル」は「完全 (M)」を選択してください。以後、画面の指示にしたがってください。

3. Windows NT Ver.3.51

- (1) 「プログラムマネージャ」「管理ツール」と進み、「Windows NT 診断プログラム」アイコンをダブルクリックして起動します。
- (2) 「ファイル (F)」メニューの「レポートの印刷 (P)...」コマンドを選択します。
- (3) 「レポートオプションの印刷」オプションでは「すべてレポートする (R)」を選択してください。以後、画面の指示にしたがってください。

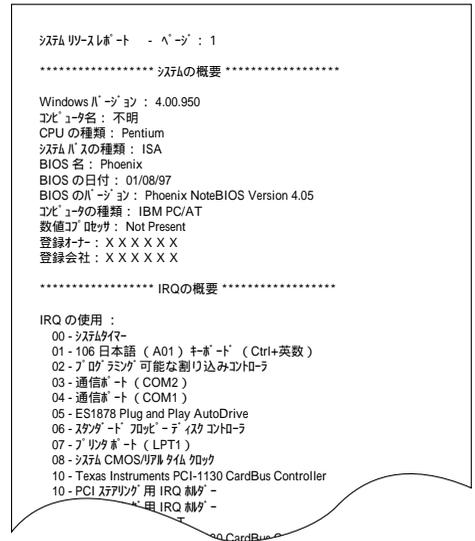


図 C.2.0.1 システムレポートの例

C.3 最新ドライバーソフトウェアの入手方法

当社は、改良などのために予告なく、本製品のドライバーのバージョンアップやパッチレベルアップを行うことがあります。最新のドライバーソフトウェアは、次の2つの方法で入手することができます。

ホームページからの入手

- (1) Microsoft Internet Explorer、Netscape Navigator などの Web ブラウザを使用して、アライドテレシスのホームページ「<http://www.allied-teleasis.co.jp>」にアクセスします。
- (2) 「サポート」の「ダウンロード」をクリックしてください。
- (3) 「LAN アダプター」の項目を選択してください。

フロッピーディスクでの入手

当社のカスタマー・マーケティング(TEL: 0120-860-442, 9:00 ~ 17:30 / 月~金)までお問い合わせください。実費にて最新ドライバーのフロッピーディスクをご提供いたします。

お問い合わせ内容

接続の構成図

簡単で結構ですからご記入をお願いします。

D ご注意

- ・本マニュアルは、アライドテレシス(株)が作成したもので、全ての権利をアライドテレシス(株)が保有しています。アライドテレシス(株)に無断で本書の一部または全部を複製することを禁じます。
- ・アライドテレシス(株)は、予告なく本マニュアルの一部または全体を修正、変更することがありますのでご了承ください。
- ・アライドテレシス(株)は、改良のため製品の仕様を予告なく変更することがありますのでご了承ください。
- ・本製品の内容またはその仕様に関して発生した結果については、いかなる責任も負いかねますのでご了承ください。

©1999 アライドテレシス株式会社

E 商標について

CentreCOM、CentreNET はアライドテレシス株式会社の登録商標です。

Windows、WindowsNT、MS-DOS は、米国 Microsoft Corporation の登録商標です。

その他、この文書に掲載しているソフトウェアおよび周辺機器の名称は各メーカーの商標または登録商標です。

F マニュアルバージョン

1999年 4月 26日 Rev.A 初版

1999年 8月 6日 Rev.B 改版、誤記修正。